

道 徒 の 聖

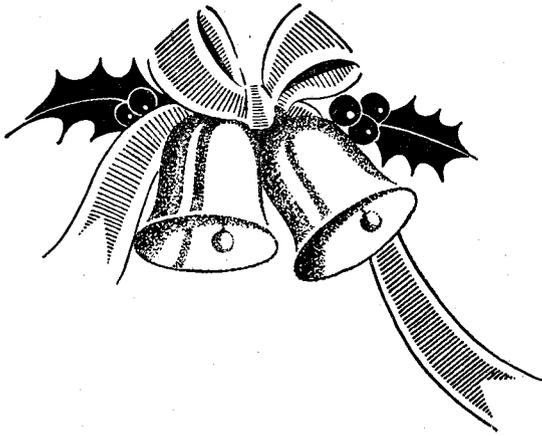
一九五八年三月十七日第三種郵便物認可（毎月一回）日発行
第四卷第十二号一九六〇年十二月一日発行



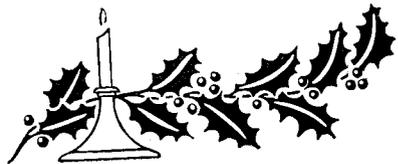
1960

12月号

末日聖徒イエス・キリスト教会



Christmas Greetings
and
all good wishes for your happiness
in the New Year



聖徒の道

1960年12月号



〔予言者のことば〕

「クリスマスの精神」

…………… デビッド・O・マッケイ…(371)

〔伝道部長メッセージ〕

クリスマスの言葉

…………… ポール・C・アンドラス…(372)

「モルモンの教義」

「神殿」(19) …………… 佐藤 竜猪…(374)

東中央地方部・地方部大会メッセージ

大会説教

1 神様への感謝を表はす機会…今井一男…(378)

2 難しい役……………大塚昌治…(380)

3 主の命ずるところに道がある
…………… 鈴木正三…(384)

私の証詞…………… 竹内悦子…(385)

ユタ物語(3) ……リーヴァイ・エドガー・ヤング…(387)

各神権時代に神はその僕に真理の光を与えた
…………… ジョセフ・フィールディング・スミス…(390)

真理を愛する…………… 小林幸司…(392)

成功する宣教師…………… ジョン・A・ウイブソー…(394)

末日聖徒イエス・キリスト教会歴史粹(12)
…………… ジョセフ・フィールディング・スミス…(400)

<支部訪問記>

人に交るに信を以てすべし ……渡辺正雄…(404)

伝道本部だより……………(407)

も
く
じ

クリスマスの真の精神に心を留める

クリスマス

このすばらしいシーズンを再び迎えるに当り、キリストのお生れになったことを祝うために昔から取っておかれたこの日、すなわちクリスマスは、「あらゆる嘆きを愛に変える」べき日であると認められていると実感することが大切である。

われわれがクリスマスを祝うときに起る危険は、霊的なものを記念する真の目的が、物質的なもののために見劣りし軽んぜられるおそれのあることである。他人に幸福を与えるという真の精神、善い友だちの友情、およびクリスマスは新しいもっと良い生活を与えるキリストが約束したもうことをわれわれに思い起させるという確かな知識がいつもまず第一に心に浮ばなくてはならない。神をほめたたえて「いと高きところには栄光神にあれ、地には平和、よろずの人に対しては善意あれ」（ルカ伝二〇十四）と言って天の軍勢は次のような基本の方針をわれわれに知らせる、すなわち

- (一) 神を信ずる信仰は、幸福と平和を得るためまず第一になくてならぬことである。
- (二) 友情のあついことは、この幸福と平和を持続するためその次になくてならぬことである。

クリスマスに当ってわれわれの望みを再び新たにし、救い主がお生れになったときに天使たちが告げ知らせた言葉を人々の間に実現するため出きるかぎりのことをすると決心するのはクリスマスにふさわしい。善い事、真実な事、美しいことを追い求めて神をほめたたえようではないか。神がわれわれに対してお示しになったと同じ善意を互いに示しあうことによって、平和を確立する努力をしようではないか。

キリストが身分の低い赤児としてお生れになったとき、あの宿屋には泊る部屋がなかった。しかし今日、あらゆる人の心とあらゆる家庭とはキリストを歓迎しなくてはならない。もしも真に喜んでキリストを迎えるならば、利己主義、ねたみ、うらみ、および不幸を招くすべてのことは親切と、心からの奉仕と、善意とによって取って代られるにちがいない。



ことを促すと共に約束を与える

精神 デビド・O・マッケイ大管長

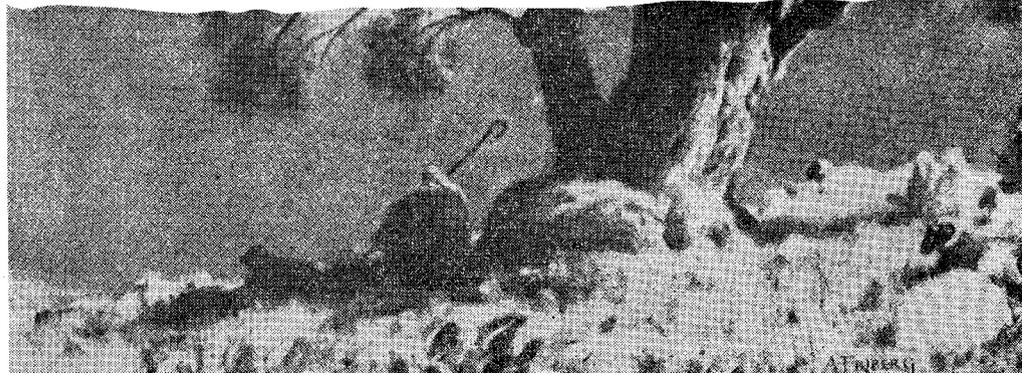
幸福の源泉は人の心の内にある。従って、われらの主なる救い主イエス・キリストを信ずる信仰が湧き出るのである。そこで第一に、各人は自分の心にクリスマスの真の精神を入れようではないか。それから、その精神を家内中に輝やかそうではないか。このような家庭が千軒あるならば本当のクリスチャンの市をつくるであろう、またこのような市が千個所もあるならば本当のクリスチャン国家が建つであろう。

クリスマスはキリストを思い起す時である。クリスマスはわれわれの信仰を固めてベツレヘムの赤児の父なる神に近づく時である。キリストがこの世に生きたもうたのは人類が生きたためであり、キリストがわれらのために死にたもうたのは、人類が何時か罪と死の束縛から逃れるためである。キリストは十字架の上で「父よ、彼らを赦したまえ。その為すところを知らざればなり」（ルカ伝二十三〇三十四）とお祈りになった父なる神の御前に至る道を指し示したもうた。

キリストは人類に永遠の生命を与えるためこの世にお生れになった。われわれはキリストが下さった賜物を有難くお受けしようではないか。イエス・キリスト、復活の主がなかったら世の人々は存在し続けることができないであろう。クリスマスの真の精神はキリストの精神である。

まことに、イエスは平和の君であるが、イエスは魔法のような方法で世界に平和をもっておいでになるのではない。いつもなまざっているように、イエスはすべての祝福が律法に基いて与えられる如く、律法に基いてのみ平和をお与えになるにちがいない。憎悪は憎悪を生み、愛は愛を生む。親切は更に親切を招き寄せ、親切と愛とで平和を生ずる。

人類がこの簡単な教えを学んで知るときに自然の結果として人類に平和が来るであろう。略奪の興味は消え失せて、人類は各人が神の姿に似せて創られた兄弟として互いを見るにちがいない。また人類は、神を愛するとはまず隣人を自らの如く愛さなくてはならぬことを理解するにちがいない。





クリスマスマスの言葉

ポール・C・アンドラス

十二月になるとクリスマスマスがまいります。そしてクリスマスマスになるとキリストのことを考えます。キリストは平和の君と、なられたもので、キリストのことを考えると人類の心には当然平和の考えが浮んできます。地にはおだやか、人には善意あれとは救い主の告げ知らせたもうた御言葉であります。

しかし、私たちが千九百六十年にクリスマスマスを迎えるとき私たちは平和をしみじみ感ずることができませんか。私たちが今年のクリスマスを迎えるとき、地球上の諸大国は自分こそ原子核爆弾と誘導ロケットを一番多く持つものになろうとしてまだ巨大な競争をつづけ居ります。これまですでに生産された原子核爆弾とロケットの正確な数は不明でありますが、その量は私たちの知っている通り人類の文明を地球上から充分一掃するに足ると推定されて居ります。そして、もっと多くの原子核爆弾とロケットとが最大の速力を以て倉庫に積み上げられています。現在の長距離誘導弾と潜水艦にのせた誘導弾を以てすれば、地球上如何なる地点でも徹底的に破壊できな

いことはありません。地球上の最大且つ最強の二つの国家は世界を制するのが各自の目標であると公然宣言して居ります。

アルヂェリヤ、コンゴ、ラオス、ベトナム、キューバなどの情勢、さらにまた国連がまさに破たんしようとすることをよくよく考えるときに、千九百六十年のクリスマスマスに際し、どうしてしみじみ平和を感ずることができましようか。

世界の平和はおそらくクリスマスマスの時季までに達成されないでしょうが、私たち一人一人の平和はこれを得ることができません。平和を得るための処方は何ですか、それは簡単であります。平和を得るためには義しくあればよいのです。誰でも平和をしみじみ感ずるためには義しくあらねばなりません。世界の各国家が平和をしみじみ感ずるためには、各国家が義しくあらねばなりません。しかし、義しくあるということは、どういうことですか。義しくあるということは、この地球のまことの神のまことの教えに自分の考えも行いも一致させることであります。不幸なことには、この地球のまことの

神のまことの教えは、地球に住んでいる非常に多くの人々が知って居りません。しかし、幸いなことには、この地球のまことの神のまことの教えは、地球に住んでいる或る人々が実際に知って居りません。まことの神は親しく選びたもうた予言者たちを通して、このまことの教えを回復したもうて居ります。そして、末日聖徒イエス・キリスト教会（モルモン教会）は、このまことの教えを完全な状態で保有して居ります。それでありますから、人は個人としてまた国民として、その考えと行いとをこの教会の教えに一致させて以て平和を得ることができるのであります。地球上の国家がみなまことの神のまことの教えに一致する状態になるまでには暫くの時がいると思われませんが、この記事を読むあなたは、クリスマスの時季までに神のまことの教会の教えにあなたの考えと行いとを一致させて居ることができまます。少くともそうなるように努めていることができます。

世界の情勢は現在暗黒であるとは言え、私たちは世界の平和が十分に達成されるのだということを知って喜ぶことができます。神はこれまでに、善はついに悪にうち勝ち、あらゆる膝はかがめられ、あらゆる舌はイエス・キリストがこの地球の神であると告白するにちがいないと言う知識を私たちに啓示したもうて居ります。

原子核爆弾と誘導弾とがもはや地球上にその姿を見せぬ日が来ようとして居ります。現在貯蔵されている莫大な量の原子核武器がどうなるか、それはまだ明らかではありませんが、これらのものがなくなるのは必ずしもありません。水が大海に満ちる如くに、平和と義と

が地に満ちる時が来ようとして居ります。その日の来る前に、世の中にはなお戦争やいろいろな火禍があるにちがいませんが、それでも善はついに悪にうち勝つにちがいません。

その日が来るまで、世界には相かわらず争いと苦しみとがあつて、私たちはそのすべての中に生きなければなりません。それでも私たちは、どのような事があるうとも、心の中に自分自身の平和を楽しむことができます。私たちが救い主の誠命に従うならば平和を与えると、救い主は私たちに約束なさいました。「これらのことを汝らに語りたるは、汝ら我にありて平安を得んためなり。なんぢら世にありてはなやみあり。されど雄々しかれ。我すでに世に勝てり」（ヨハネ伝十六〇三十三）。

「われ平安を汝らに遺す。わが平安を汝らに与う。わが与うるは世の与うる如くならず。汝ら心を騒がすな。またおそるな」

（ヨハネ伝十四〇二十七）。

私たちが千九百六十年にクリスマスを迎えるに當つて、私たちは一人一人福音の教えに各自の生涯を一致させるようまた新しく決意を固めようではありませんか。もしもあなたが福音の教えに自分の生涯を一致させているならば、「地にはおだやか、人には善意あれ」と告げる言葉は、真実の深い意味を以てあなたの中の心に鳴りひびくにちがいません。

「さらばすべての人の思いにすぐる神の平安は汝らの心と思いとをキリスト・イエスによって守らん」（ピリピ書四〇七）。

「神殿」(十九)

佐藤龍猪

「汝ら組織して必要な物をことごとく調えよ。而して、祈りの家、
断食の家、信仰の家、学問の家、栄光の家、秩序の家、神の家なる一
つの家を建つべし」。
「教義と聖約」八十八〇百十九

一、神殿とは何であるか

啓示によれば、神殿とは日の栄の国の最も高い栄光に昇るに必要な儀式を執り行うため特に献堂された神聖な所である。従つて、神殿は普通の禮拜堂とはその目的を全く異にしている。教会堂はいかに壮大華麗であつてもそれは一般人の集る所であつて神殿ではない。

神殿は日の栄の国の最も高い栄光に昇る祝福を受けるに値する忠実な働きをした心の純い人々のために、諸々の儀式を行い、誓約を結ぶために聖別された所である。

福音の教えの最も肝心なところは、神殿を建てて、生きてゐる人々のためにもま

たすでに死んだ人々のためにも、救いと昇エキザルテーションの栄栄(日の栄の国の最も高い栄光)を得るに必要な諸々の儀式をその中で執り行うことである。神殿は聖堂、教会堂、会堂、講義所などのように、一般人が禮拜のために集りまた会衆が教へを聴聞するために集る場所ではない。神殿は神の御名によつて建てた「聖所」である。

二、始めの神殿

今も昔も福音の原則と儀式には変りがない故に、また「永遠の生命」を求めらる人々は同じ誓約を結ばなければならぬ故に、ノアの以前にも靈感を受けた族長たちは「聖所」を建てたと思われる。

しかし、主は人々が貧困もしくはそのほかの理由によつて主の御名による「聖所」を建てることのできない場合には、荒野や山の頂上や特に選んだ森の中などで、主の御旨を現わそうと告げたもうた、「教義と聖約」百二十四〇二十八―三十六参照。

従つて、最初の神殿は山の頂きや荒野の中の人気のない所にあつた。アダムはアダム・オランダイ・アーマンの原の中にある丘の上に祭壇を築いたと言われ、「救いの教義」第二巻二三―二五参照)。そこに於て主はアダムにその「墮落」の目的と救い主の使命とについて啓示を下したもうた(「教義と聖約」百七〇五十三―五十七参照)。エノクがマフヤという所に立つて主を呼んだとき「天より声あり、汝戻りてシメオンの山に上れ、と」(「高価なる真珠」モーセの書七〇二―六十九参照)。

この山の上でエノクは天の開くのを見た。エノクは主の栄光を着せられて、主を目のあたりに見、主の直接話しかけたもう声まごゑを聞いた。この山の上で主はエノクに「救いの計画」を完全に啓示したまい、エノクは地球上の民を最後の代に至るまで見たのである。

シエビドの兄弟が一つの使命を託され、人類最大の示現を受けたのは(モルモン経、イ

テル書三〇一―二十八、四〇一―八参照)、神聖巻由、シレム山の上に於てであつた。シレムの兄弟はこの世の始めから終の代に至るまですべてのことを示現の中に見えた。

ヤコブは主が彼に現れたもうた所をベテル(ベツ・エル)すなわち「神の家」と名づけた(創世記二十八〇一―二十二、三十五〇一―十五)。モーセがイスラエルの人々を救い出す使命を託されたのは「神山」と言われた聖所ホレブに於てであつた(出エジプト記三〇一―十五)。また別の聖所シナイ山に於て、モーセは主と顔を合せて語りイスラエルの人々を導く律法を授けられた(出エジプト記十九〇一―二十五)。更にまたモーセは「いと高き山」の上に於て万物の創造を示現の中で見せられ、これを書き誌せと命ぜられた(高価なる真珠)モーセの書一〇一―十一)。モーセは荒野の中で幕屋が完成されるまでこのような聖い地で神と交通をしたのであつた。

輝やき、その衣は光のごとく白く)なつた(マタイ伝十七〇一―八)、そして、その時現われたモーセおよびエリヤと共に三人の使徒に神権の鍵を授けたもうた(ジョセフ・スミスの教え)一五八頁、および「聖徒の道」一九六〇年九月号「神権」と「鍵」参照)。主が三人の使徒を、エルサレムの神殿へ伴う代りに、この山の頂きを聖別してそこへ伴つて行きたもうたのは、当時エルサレムの神殿が真の神を礼拝しないユダヤ人たちの手に落ち「強盗の巢」(マタイ伝二十一〇十二・十三)になつていたからである。

三、末日に於ける「聖域」

主はミカエルとガブリエルとをダニエルに遣わして重大な啓示を下したもうた。この啓示はウライとヒデケルの川岸に於てダニエルに与えられた(欽定訳聖書「英文」ダニエル書七・八・九・十章参照)。当時地球上に神殿がなかつた故にこれらの場所が聖別されたのである。

このように千八百二十年の春、少年ジョセフ・スミスが父の家の近くにあつた森の中へ入つて祈りを捧げたところ、この地が

聖別されて父なる神と御子イエス・キリストが現れたもうた(「高価なる真珠」ジョセフ・スミスの著七十六頁参照)。

バプテスマのヨハネは千八百二十九年五月十五日、北アメリカ、ペンシルベニヤ州ハ―モニーの或る森の中に於てジョセフ・スミスとオリヴァ・カウドリの兩人に現われ、アロン神権を再びこの地球上に回復した(「末日聖徒イエス・キリスト教会歴史粹」六十七頁(英文)、「教義と聖約」第十三章参照)。またそれから間もなく(千八百二十九年五月十五日―六月の下旬の間)「教義と聖約の註解」六十九頁参照)、ペテロ、ヤコブ、ヨハネの三人がペンシルベニヤ州ハ―モニーとニューヨーク州コーレスヴィルの間にある荒野の中のサスケハナ川の川岸で、ジョセフ・スミスとオリヴァ・カウドリの兩人に現われ、メルケゼデク神権を回復した(「末日聖徒イエス・キリスト教会歴史粹」六十九頁(英文)、「教義と聖約の註解」六十八頁参照)。

千八百三十年四月六日に末日聖徒イエス・キリスト教会が組織されてから間もなく、まだ教会員の数も多くなかつた時(千八百三十二年)、主は権能の鍵を授けまた「エンダウメント」を授けるため、一つの神殿を建てよ

と命じたもうた（「教義と聖約」八十八〇百九十九―二百二十参照）。当時聖徒たちは非常な艱難の中にあつたが、よくこれらの艱難と窮乏とをしのいで千八百三十六年三月二十七日、オハイオ州カートランドに一つの神殿を献堂した。当日神殿の中には靈氣満ち充ちて、天使が現われ、「聖靈」は「烈しき風の吹き来る響き」を以て全会衆に臨みたまうた。近隣の人々はこの不思議な響きを耳にして何事ならんと走り出て見ると、神殿の上には光明が光り輝やっていた（「末日聖徒イエス・キリスト教会歴史」百九十頁「英文」参照）。

このように、カートランドの神殿は主の嘉納したもうところとなり、千八百三十六年四月六日には、救い主が親しくジョセフ・スミスとオリヴァ・カウドリの兩人に現われたまい、つづいてモーセが現われて「世界の四隅よりするイスラエル人の集合と北の国より十の支族を導き来る」権能の鍵を委した。またその後からエライヤスが現われてアブラハムの神権時代の鍵を委しつづいてエライジャが現われて「結び固め」る権能の鍵を委した（「教義と聖約」百十〇―百一十六参照）。

最初カートランドの神殿はこのように祝福されていたが、間もなく「聖なる神の家」としての使命を終った。この神殿は当時の教会員が言い尽せぬぎせいを払って建てたものであるが、迫害の力によって西方へ追いやられた時に廃棄されてしまった。その建物は今もなお残っているが、神殿の必要をほとんど理解していないほかの教派が単なる集会所として使っている（「信仰箇条の研究」二〇八・二〇九頁参照）。

カートランド神殿の使命の主なるものは、前に述べた如く主が親しく現われたもつて、前の神権時代にこの地球上にあつた諸々の権能の「鍵」を回復させたもつたことであつた。この神殿に於て主は「エンダウメント」を授けたもうたが、それは完全なものではなくて、当時十二使徒そのほかの人々が、これを最後に主の葡萄園の刈り込みをするために行くために必要な「部分的なエンダウメント」であつた（「末日聖徒・イエスキリスト教会歴史」三〇三頁（英文）、「救いの教義」第二卷二四二頁参照）。また千八百四十一年一月十九日に下つた非常に重要な啓示によつて「死者に代りて行かうバプテスマ」は神殿の中で執り行

わねばならぬことが明らかにされたが、カートランド神殿には「聖徒らが死者に代りてバプテスマを受くるための浸礼盤」の設備がなかつた。従つて、完全な設備をもつ神殿を建てる必要を生じ、千八百四十一年四月の六日イリノイ州ノーヴーにノーヴー神殿の首石を置いてから、迫害の中に在つて營々努力を積み重ね、千八百四十六年五月一日に全部の建築を完了して献堂の式を挙げた。これも激しい迫害のためにノーヴー市を退去するの止むなきに至つてついに廃棄されたが、建築完了に至るまでの間に神殿の儀式は執り行われていた。（「末日聖徒イエス・キリスト教会歴史」三一〇、四〇〇頁「英文」参照）。ノーヴー神殿は反対者のために放火破壊されてしまつたから、今は廢墟となつてゐる（「信仰箇条の研究」二〇九頁参照）。

これより前、千八百三十一年七月に下つた啓示（「教義と聖約」五十七〇―一三）によつて、ミズーリ州インデペンデンスは「シオンの市を建つべき所」と定められ、「神殿の建てるる一地点」の位置も明らかにされた。これに従ひ、千八百三十二年八月二日その土地は主に奉獻されたが、ここに神殿を建築する事業はまだ完成していない（「末日聖徒イエ

ス・キリスト教会歴史「百三十二頁」英文、「信仰箇条の研究」二〇八頁参照。

また千八百三十八年四月二十六日に下った啓示（「教義と聖約」百十五〇七—一二二）に従って、ミズーリ州ファーウエストに一地点を選び、千八百三十八年七月四日に神殿の首石をすえたが（「末日聖徒イエス・キリスト教会歴史」英文）二一二頁参照）、これもまた完成されていない。

四、末日の神殿

末日聖徒がソルトレーク入りをしてまず着手したのは神殿を建てることであつた。

この建物は「エンダウメント・ハウス」と呼ばれ、神殿の儀式がこの中に於て執り行われた。この「エンダウメント・ハウス」は後にウイルフォード・ウッドラフ大管長の命によつて取りこわされたが（「教義と聖約」四五一頁「公式の宣言」参照）、一方千八百五十三年四月六日に現在のソルトレーク神殿の首石が置かれ、それから四十年の歳月を経た千八百九十三年四月六日に献堂された。

末日聖徒イエス・キリスト教会はこれまでに、前に述べたオハイオ州カートランド

の神殿、イリノイ州ノーヴーの神殿のほか、ユタ州のセント・ジョージ、ローガン、マンタイ、ソルトレークおよびハワイのライエ、カナダのアルバータ、アリゾナのメサ、アイダホのアイダホフォール、イスのベルン、カリフォルニアのロスアンゼルス、ニュージールランドのオークランドおよび英国のロンドン等に壮大な神殿を建て「生ける者にも死ねる者にも」、「日の栄の国の最も高い栄光に昇るに必要な」諸々の儀式を執り行っている。

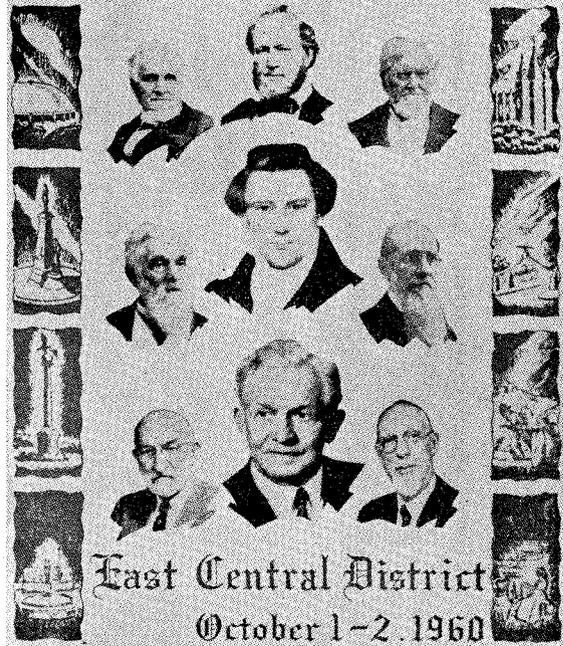
五、神殿の儀式

神殿の儀式については「教義と聖約」第二百二十四章三十九節に「この故に、われ誠に汝に告ぐ、汝らの灌油の儀、汝らの聖なる洗ひ、死者に代る汝らのバプテスマ、汝らの聖会またレビの子らに由る汝らの捧物の記念、神よりの交通を受くる最も聖き所に於ける汝らの神託、汝らの律法と審判、啓示の始まりと、シオンの基と、シオンのすべての市制の栄と蒼とエンダウメントは、わが聖き名のために建てよとわが民の常に命ぜらるるわが聖なる官居の儀式によりて制めらるるなり」という言葉がある。

「教義と聖約の註解」七七八頁には、この三十九節に註釈を施して「この節には数々の神殿をたてた目的が簡単に述べてある。それらの目的はすなわち『洗ひ』と『灌油』と『バプテスマ』と『聖会』と『レビの子らによる汝らの捧物の記念』と『神託』である……」と言つてある。また「末日聖徒イエス・キリスト教会歴史」(英文)三一九頁には「予言者ジョセフは、彼らに啓示の中で言われた洗ひと灌油と神よりの交通とに関する教義を知らせた」とあり、「救いの教義」第二卷二五二頁(英文)には「今受けているエンダウメントは、カートランドで与えられたものよりは大きなエンダウメントである。それは、われわれの守るべき誓約と義務とを更に追加して主が啓示したもうているからである。もしわれわれが神殿へ入るならば、われわれは手を挙げて、主に仕えてその誠命を守り世の汚れに染まぬように身を保つことを誓約する。もしわれわれが、自分の今していることの意味を真に悟るならば、エンダウメントはわれわれすべてにとって生命の守りである。それは神殿へ入らぬ人には与えられない守りである」と言つてある。このほか「永遠に結び固める結婚」が神殿で行われている。

東中央地方部

Conference



East Central District
October 1-2, 1960
末日聖徒イエス・キリスト教会

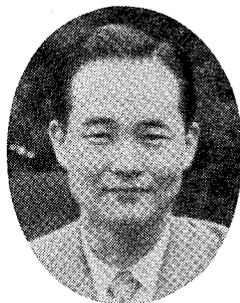
地方部大会メッセージ

△大会説教▽

神様への感謝を表わす機会

それは奉仕

東中央地方部長 今井一男



新しく組織された
地方部長として召し
と皆様の支持を受け
たことを心から感謝
しております。

今思い出しますと
丁度八年前の一九五
二年の秋の大会の時
に今日と同じ様にやはり、地方部大会で、話をする機
会が与えられました。丁度その時と同じ気持です。そ
の時、私に一つの召しが与えられましたがそれは宣教
師として伝道することでした。この秋の素晴らしい天候
のもとに行なわれた地方部大会においてまた新しい召
しを受けて心から感謝致しております。

前から日本人の地方部長会が組織されることを望ん
でおりました。しかし、私が地方部長の責任を与えら
れようとは思っていませんでした。伝道部長よりそ
の召しを受けた時に、非常にびっくりしました。

しかし、今迄中央支部の支部長として、神様の導きによって、また、よき指導者の忠告によつて、また、よき顧問や会員たち、また妻の助けによつて、その責任を果すことが出来まして、心から感謝いたしております。

私は、決して、このたびの責任を果すための、才能と智恵や力はないものと、よく分つております。しかし神様の助けがある時に、指導者の導きがある時に、よき顧問、また、再組織された評議員の助けによつて、また、この地方部の兄弟姉妹の助けによつて、この責任を良く果すことが出来ると確信しております。

素晴らしい顧問をまた、指導者を神から与えられて、私は心から感謝しております。

ジョセフ・スマイスがこの教会を回復して、百三十年になります。今日全世界においてこの教会は非常に発展し、多くの人々に生ける真の神様の教えを宣べ伝えております。私もその教えを受けることが出来、心から感謝しております。そしてこの感謝を表わす為に私に出来る唯一の方法は、教会において、また人々に、奉仕することです。

ジョセフ・スマイスが、真の教会を捜し求め大変悩み、苦しんだ後に、生ける神より啓示

を与えられ、そしてキリストより権能を与えられて、この教会が組織されました。ジョセフ・スマイスは、どれ程、この教会を愛したとでしようか。言葉や筆には表わすことが出来ないと思ひます。そして彼は、彼が求めていた神から与えられたこの教会を心から愛して、神様の教えのために、また、教会のために、己が生命までも、犠牲として捧げました

私はジョセフ・スマイスが神様から与えられた、この教会を愛したように、私も心から愛したいと思ひます。今迄、その感謝の心を表わす一つの方法として、中央支部のために、働いてまいりましたが、これからは、東中央地方部のために、働く機会が与えられました。神様の導きと顧問の方々、評議員の方々、そして、兄弟姉妹の支持によつて、良く奉仕することが出来るように、祈つております。

昨晚のタレントの夕べにおいて、東京北支部の方々が、素晴らしい演劇をして下さいました。モルモン経を読まれた方は、かならずアンモンの民のことをお読みになつて、非常に感動されると思ひます。信仰のために、神から与えられた教えのために、自分の生命までも喜んで捧げると云う、実に素晴らしい信仰

強い人々の劇を目の前にして、私たちは、また私は末日におけるアンモンの民のごとくならなければならぬと感じました。

また、今度の地方部大会のプログラムの表紙を始めて目にした時に、素晴らしいアイディアであることを、心から喜びました。皆様のお手もとにありますように、その表紙にはジョセフ・スマイスを始めとして、この教会の発展に努力し、神から選ばれた予言者としての務めをまっとうされた方々の顔が載せられております。そして今、まだお会いしてはおりませんが、私たちの愛するデビッド・O・マッケイ大管長をいただいておることを、またこの伝道部において、アンドラス伝道部長を始めとする伝道部長会を与えられておることを心から感謝しております。今迄オルトン長老は地方部長として、良くその責任を果されてまいりました。素晴らしい走者の後に、バトン・タッチされる者は、苦しいのではないかと思ひます。しかし、素晴らしい地方部の会員の信仰を強めるために、心から働きたいと思ひます。

私たちは、今日のこの時代における、末日聖徒として、律法の一つ一つを守り、神様の証人とならなければいけないと強く感じてお

ります。十分の一、智慧の言葉。福音に對するより深い、より完全な理解と実践、隣人に對して誠実と愛を持って奉仕すること、それは、今日の私たちに与えられた特権であり祝福であります。これらのどんな小さな律法であっても、一つ一つを良く守り、神の国において、神と共に住む場所を与えられるよう

〈大会説教2〉 難しい役

大塚昌治

(東中央地方部第一副地方部長)

今朝、下の入口に入ってまいりますと中央支部の遠藤兄弟が「よう隊長」と私によびかけました。私は返答のしようがないので、「おう//ハッハッ」としか返事することが出来ませんでした。

なんだか昨日の劇の悪役のお陰で、私の日常の生活まで、悪役をやっているのではないかと、一寸錯覚いたしました。大体私は演劇では、悪役の方が好きです。どうして好きかと云うと悪役の方が簡単にやれるからで

に、一人でも多くの人が与えられるように、私は心から働きたいと望んでおります。

どうか今まで私に對して下さった友情とみちびきと愛とをこれからもお一層お願い致します。これらのお話しと感謝とまたすべてを祈りと共に主イエス・キリストの御名によって申しあげました。アーメン

す。かけだしの役者にとつては、悪役でもやらせて貰うのが、一番簡単なわけです。

これは人生でも、やはり、同じではないかと思ひます。悪役の方は簡単にやれるのですが、中々好い役は難しいと思ひます。今日、皆様の支持によりまして、今井兄弟の顧問として働くことになったわけでありますが、悪役ではなくて難しい方の役をこれから一杯やらせて戴きたいと思ひます。

ハイティーンの時代——これは、難しく云えば、少年期から青年期にかけての時代だと思ひますが、このハイティーンの時代を皆さんに思ひ出して戴きたいと思ひます。そのハイティーンの時代には、恐らく皆さんに對して忘れられない人が一人や二人いたのではないかと思ひます。この方たちは、私たちの生涯の生き方を決定的にした人たちであると

思ひます。それは偉大な教師であり指導者であります。

私の場合も二・三ありますが、特に私が今日迄こうやってやって来られましたのは一人の素晴らしい宣教師のおかげでありました。ここにテッド・プライス長老がおられますが、その弟に、レイ・プライス長老という方がおられました。この方は、テッド・プライス長老よりも、スタイルは良くありません。すぐく肩巾があり、ウエストも大きく、たくましい宣教師です。このレイさんが、私にとつては一生忘れれることの出来ない人であります。

彼は高崎支部の二代目の支部長であり、また、岡内長老とともに、高崎支部を開設した人でもありました。十一年前の一月頃から高崎支部は開設されましたが、四月頃、私も教会に行きました。そして最初に、このレイ・プライス長老に、歓迎されました。彼の手は丁度軍手にゴムをかけたようなゴワゴワした手なんです。そのゴワゴワした手で、ガツンと握手されて、ものすごく靈的なものを感じましたが、それが、教会の一番最初に来た印象であります。

その後甲府に転任し、その年の暮に高崎支部の支部長として彼は転任して来ました。私

は既にその年の八月にバプテスマを受け、約四カ月程たった時であります。その頃、宣教師のことを長老とは呼ばずにいたので、「ブライスさん」が来たと言つて学校を終るとさっそく宣教師の家に行つたわけです。玄関を明けて「ブライスさん」と呼んで入って行きますと、お勝手に、喰いしん棒ですから、何か煮ていました。「暫くでした」と挨拶をすまして「何を煮ているんですか」と尋ねると、フタを取つて見せて下さいました。

何か奇妙な物が、グツグツ煮えておりました。「何ですか、これは」「これですか、これはゲンバクです」私はすぐ原子爆弾を思い出しまして、「原爆ですか」と大変びっくりしました。よく見れば小麦の丸のままなのです。これを彼はゲンバクだと云うのです。その時に始めて、そのような用語を日本語で知つたわけです。「これをどうするんですか。」「これは私が喰うんです」「これ喰うんですか?」「あなたは知らないのですか、智恵の言葉に書いてあるでしょう。」「知らないわけですよ、その当時には教義と聖約はまだ翻譯されておりませんから、八十九章の全文を私たちは知りませんでした。智恵の言葉と云えば、酒や、タバコや、お茶や、コーヒを飲まな

いことだけだと、思っていました。ところが智恵の言葉でゲンバクを喰えというわけですから。これにはどきもぬかれました。その時おいしいミルクをかけてくれました、少々いただいたわけですが、なんだか口の中がごわごわして、大変なものを食わせられたと思ひました。

その時印象的な智恵の言葉の説教を受けております。だいたい、ブライス長老は壇上から説教するのが下手なのです。「けれども私は……」と云う云い方をして「けれども」のことを「けれども」「けれども」と云うのです。とっても下手なのです。けれども個人的に話をすると、素晴らしい説教をする宣教師なのです。人間の意表を突いて来ると云うのでしょうか。痛い所を突いて来るのです。その時にも「一寸、大塚兄弟、あなたの体を借して下さい」何をするかと思うと、私の体をひよいと肩のせて、「よいしょよいしょ」と持ち上げるのです。「どうもありがとうございます。それで肩をもんで」「ああいい気持ちです、ウォーミング・アップが出来ました。」何のウォーミング・アップかと云うと、私に対する説教のためなのです。「まあ、そこに座りなさい。」「あなたは果物を食べなければ

ばいけませんよ。野菜も食べなければいけませんよ。ゲンバクも食べなさい。」

智恵の言葉はご存知のように、積極的な面と消極的な面とがありまして、消極的な面が何々すべからず。という律法で、酒を飲んではならないとか、タバコを飲んではいらないと云う点です。積極的な面は栄養価のある物、果物を食べるとか、野菜を食べるとか、肉をほどよく食べるとか、小麦を食べなさいとか、いう点です。レイ・ブライス長老は、私に、この点について強調してくれたわけです。最後に「あなたは、この律法を守るなら、智恵と知識を与えられる。本当に、肉体的に健康が与えられますよ。」「走れども疲れず」と云うことを、特に強調しました。「私を見なさい」と云い「私は走っても疲れませんよ」と。

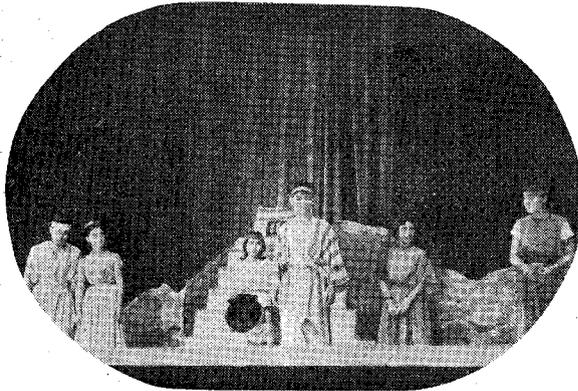
そして多分テッド・ブライス長老だと思ひますが、二人でアラスカへ出かせぎに行つた時の話をしてくれました。アラスカに行つて、或る時に、氷の上を渡らなければならなかつた時があつたそうです。この氷は余り厚く張つていないので、ゆっくり行くと、だんだん水につかつてしまふのだそうです。ですからものすごいスピードで走らなければいけ

ないわけです。十一秒か、十二秒フラット位で飛ばなければなりません。」「そこを私たちは、走って水につかりませんでした。これは、私の証詞ですよ」と。

十一年たっても、こう云う説教をされたら、誰でも、忘れることはないでしょう。その話が終わると「大家兄弟、あなたは十分の一を払っていますか」、こうくるわけです。そのものずばりです。「何ですか。十分の一って」お恥しい話ですが、バプテスマを受けて四カ月もたっていたのに、十分の一を知らなかったのです。十分の一を知らずにバプテスマを受けたのですから、随分のんきな話です。「あなたは十分の一を知らないのですかでは、あなたは神様に、ドロボウしていません」と云うのです。これもまた、人の意表をつきます。私たちは旧約聖書のマラキ書を読んでいますから、こう云うセリフを聞いてもちっとも驚かないのですが、その当時は、びっくりしました。

マラキ書の第三章八節には「人神のものを盗むことせんや。されど汝らは、我がものを盗めり、汝は、何において汝のものを盗みしやと云えり、十分の一および捧げものにおいてなり。」とは、つきりと書かれておりますから

決してプライス長老だけが特別の言葉を使つたわけではないのです。聖書には、ごく普通に書いてある言葉ですから「あなたは、神様に、ドロボウしています」と云われても、ど



＜ 汚れなき劍 東京北支部上演 ＞

うしようもないわけです。經典に、書いてあると、云われれば、それまでです。大変びっくりしました。これは大変だと云うので、翌日さっそくプライス長老のところへ、お金を持

っていつて、「はい、十分の一です」と出しました。

「ああそうですか、ありがとうございます。」

「あなたは、神権について考えたことがありますか」大変です。今度は神権です。でも神権はもう大丈夫でした。今はアメリカに行っております吉野兄弟が教師、もう一人の兄弟が祭司になっており、高崎には、二人の神権者がおりますから、私も神権が欲しいと心から願っております。ですからこの点はこのこにして「はい、考えております」と答えることが出来ました。さっそく神権のインタービュウを受けてアロン神権の祭司の職に召されました。そして一九五〇年の一月一日元日が安息日の時であります。その日に交代期にあつて一週間、高崎におりました、岡内長老から、アロン神権の祭司の職に、聖任されました。

さあ、それですっかりうれしくなっていました。末日聖徒イエス・キリスト教会の祭司になったんだ。随分偉くなったような気がしました。「ようし、これから友だち全部に、お説教してやろう」「沢山教会に連れてきてやろう」と、ファイトにもえておりまして、さっそく印刷屋に行つて「末日聖徒

イエス・キリスト教会、祭司、大塚昌治」と

——宣教師の名刺とそっくり同じに、ただ、長老というところを祭司と変えて名刺を作ったのです。この名刺を友だちに配って、「俺んとこの教会に来いよ。俺は来日聖徒イエス・キリスト教会の祭司だから、来いよな」と歩きまわったのです。それが、何時じかプライス長老の耳に入りました。「大塚兄弟一寸いらっしやい。あなたは名刺を作ったそうですな」「はい、作りました」もう得意でした。いいことをしたと思ってるのですから喜んで彼に答えたので。そうすると、プライス長老は、やさしく、ユーモラスな人ですから、私を笑わせながら、大体このような話して下さいました。この教会の神権の各職は、他の社会的な名誉とか、かたがごとく、地位とか云うものではない。宣教師の場合には長老は長老であるが、宣教師に召されておりますので、一つの敬称として用いるのだと、やさしく説明して下さいました。

そこで、今度は友だちを一人一人訪問して、名刺を返して貰いました。そして止むを得ず家に帰ってお風呂場で燃してしまいました。泣き泣き燃したわけです。たしか二枚を未回収であります。十年前に印刷された、未

日聖徒イエス・キリスト教会の祭司と云う、

肩書のついた、私の名刺がありましたならば、どうか、私のところに持って来て下さい。これは大枚を払っても買戻し致したいと思ひます。

こんなわけで、神権の職に召されてから、どうやら、こうやら教会の役員として働くようになりしました。ある時に、レイ・プライス長老は、当時MIAの会長としていた私と、日曜学校の会長をしていた一人の兄弟をよんで、テストをしました。これまた、人の意表を突いたテストです。「あなたはもしも、ジョージ・アルバート・スミス大管長が、この教会はウソの教会だと云ったら、どうしますか」とこんな奇妙な質問をするのです。たまたま聞いてしまいました。「いや、大管長でなくても私、この私が、この教会がウソだと云ったらどうしますか」私たちは、レイ・プライス長老にぐいぐい導かれていましたから、——天使みたいな気持ちでいましたから——そう云う質問をされるとドキッとします。日曜学校の会長の方は「私は考えこんでしまいます」と答えましたが私はガムシヤラですから、「あなが、俺と云をうと、大管長が何と云をうと、この教会は絶対正しいのです」と答えた

のです。

そうすると彼は大笑喜んでくれて、それから私に沢山責任を下さいました。MIAの会長は、さることながら、MIAクラズの先生アクティヴティの先生、それから日曜学校の大人のクラスの先生、前橋の方の日曜学校の先生もやりました。常任聖餐式の司会というものをやりました。それから、ひと頃は支部の会計書記として十分の一の領収書もきったことがあります。また神権会の会長と云う、役もありまして——今から考えると面白いのですが——また神権会の先生………沢山責任を下されたものです。次の支部長が「まあ、あなたは、どの会にいても、司会をし、お話をするのですね」とあきれておりました。レイ・プライス長老は私に沢山の責任を下さいました。しかし私も神様の力によって無事にその責任を果すことが出来ました。

私は、初期の宣教師から、こう云う導き方をされましたが、なお今日彼のことについて、鮮明に私の心に刻まれております。これらの一つ一つの律法、すなわち智慧の言葉、十分の一、神権、証詞、これらレイ・プライス間者から学んだ律法は全部正しい事を私は心から確信致しております。

私は今日もなお、当末日聖徒イエス・キリスト教会は、真の教会であり、ジョセフ・スミスは、真の予言者であることを確信致しております。私はこのジョセフ・スミスが、真の予言者であることを知っております。また神様は真に生きてましまし、イエス・キリストは真に、私たちの救い主であることを心から知っております。そしてまた、私はこの当時沢山責任がありました。その時と同じように今もまた、多くの責任を受けて、当時の心境に帰っております。その当時を懐しむと同時に、その当時やれました以上、今日もこの召された責任忠実にベストを尽してやれること心から確信しております。

全てをイエス・キリストの御名によって皆様に、お話し致しました。アーメン



△大会説教3▽ 主の命ずるところに 道がある

鈴木正三

(東中央地方部第二副地方部長)

愛する兄弟姉妹の心からの支持をいただきまして、私が愛し、尊敬している今井、大塚、福田真兄弟と共に地方部の責任をいただきましたことを心から厚く感謝しております。今、ホームの愛、という歌を歌いました。私たちが教会の中に入ることが出来ました。イエス・キリストは伝道していらっしやった時に、すぐにこの愛について強調しました。

私たちにとって一番大切な誠命は、まず第一は、主なる汝の神を愛すべしであります。第二は、汝の隣りを汝の如く愛すべしという誠命であります。イエスはしばしば、説教の中に、愛を身を持って実践されながら、話されました。いよいよ最後の晩餐の時にになりまして、彼はたらいの中に水を入れ、手拭をとって自分から一人一人の弟子の足を洗われ

ました。そしてそれが終わったときに私はあなた方の師であり主なるにこれらのことをしました。どうぞあなた方はこのことを覚えて、いつも忘れないでいてほしいと云われました。私たちは一つの真の福音を信じ実行するものとして、このイエスが身をもって実践されたことを日常生活の中に取り入れて、私たちのこの日本に於てこの東中央地方部に於て、各支部に於て、お互が固く結びあい、これからの日常生活を共に歩んでいきたいと思っております。私たちはなかなか自我が強くて、イエスがおっしゃったようにこれをすなおに実行することは困難なことでもあります。しかし私たちはこれを押し下しても平和な気持ちで多くの方々とか心から友だちになれば、その友だちがなにか悩みがあったときかならず相談ののって、解決できるものと深く信じています。

教会に入りましてから、まだ、私は八年しかたっておりません。大塚兄弟の先程の話の中からは、彼はだいたい十年位たっているようになりかいました。私が教会に一番最初に来ましたのとは、MIAですが、出席したときに、大塚兄弟にお会いしました。その時には横浜支部に始めて出席したのださうです



私の証詞

竹内悦子

(札幌支部)

初めて教会の門を入ったのは、室蘭支部で中学三年の時でした。仲のよい友達に誘

われて恐る恐る入口に入ったとたんに、優しそうな二人の外人宣教師と兄弟、姉妹の出迎えに私の心はこの教会の福音は知らなくとも、非常に惹かれる物がありました。

しかし、お教えを聞いて素直に信じる事は難かしく、なぜ同じ主を信じて多くの独立したキリスト教会があるのか疑問に持ち、少し興味を持ち始めた頃、他の教会にも行ってお話を聞いて見ようと思ひ、カトリック

とプロテスタントの教会にも行って見ました。

カトリックのある信者の方は、もし貴女達が本当に神の教会を求めるなら、私の教会にいらっしゃい。遊び半分の気持ならモルモン教会でもいいでしょと云いました。

その時、私は心の中でそんなことはないと言ひ強く叫んでいました。ジョセフ・スミスに、神とイエス・キリストが、お親おれはなつて、直接にお話をされ「命ある教会は全て私の教えを教えているが、その心は私

か、私は彼と会つた時に、急に何十年代の友だちであるかのように親しくなりまして、それから例の如く演劇を始めました。その時に彼は、予言者ジョセフ・スミスが殉教をしたときのことをドラマにしそれをやつたと思ひます。同じく悪役をやつたと思ひます。昨晩、その悪役をしていますときに非常になつてかしく思ひ出しました。丁度バプテスマを受ける前でありました。二月にMIAに私は行き、それから一緒に彼と活動するようになりまして、八月にバプテスマを受けたのですが、その後には彼は横浜支部から宣教師に招かれて、京都の方で働くようになりました。非常にファイトがあつて、日曜学校に於ける彼のモルモン経のレッスンを非常によく覚えています。本当に心から尊敬しています。それからお互に仲良くして、いつも一緒に働きたいと思つていましたが、はからずも今回、こうじて一緒に働くことになつたことを心から二人で感謝しています。

非常に重い責任であります、主が命じられる前には必らずその道はそなえてあるという事はモルモン経典の中に云つてありますから、この重い責任を神様から与えられまして、教会に於ける働きを常に主の導きをいた

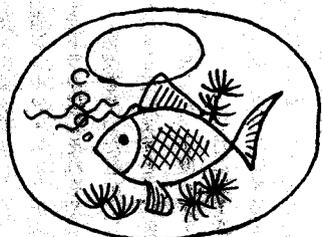
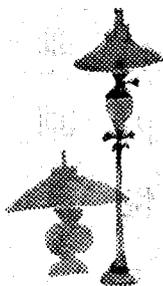
から遠ざかっている」とお話され、後ジョセフを通して回復されたという所に非常に興味を持っておりましたが、信じることに出来ないままに教会から去ってしまいました。

そして二年後、私の心は再び教会へと惹かれ勇気を持って教会に行き、その日より宣教師達から家庭集会を受け、心にこの教会は真であるという確心を持ち始めました。しかし残念な事は、始めて私を導いてくれた二人の友は何度か誘っても信じられないといつて教会に来ませんでした。私はパプテスマを受けるまでに多くの困難な状態に合いましたが、神様を信じてお祈りし、いつも愛あるお守りと導きにより去年の六月二十三日、ビンガム長老によりパプテスマを受け、札幌支部の一員として出席

しております。ここで私を導いて下さったお友達と多くの宣教師達、兄弟姉妹に、また私の家族に心から感謝申し上げます。私は神様の福音を一そう深め、実行するよう心掛け一人でも真のこの教会に導き入れることが出来るようお祈りして頑張つて行きたいと思っております。最後に、末日聖徒イエス・キリスト教会の真の唯一の神の教会であることを心から証詞致します。

これらすべてのことを御子イエス・キリストの御名を通して申し上げました。

アーメン



だきながらまた皆さんの心からの支持と協力をいただき、この仕事に全力を通していきたいと思えます。ジョセフ・スミスを始め、大管長、アンドラス伝道部長を始めとする伝道部長会を心から支持して、私たちの教員が唯一の教会であることを深く証詞致します。

愛する兄弟姉妹と共に末長く主の御前に正しく生活することができるよう努力し合つてこの道を堪えて生活していきたいと思えます。これらを全てイエス・キリストの御名を通していたしました。アーメン

〈求道者のためのよみもの〉

ユタ物語

(3)

リーヴァイ・エドガー・ヤング

(七十人会最高評議員会々長)



○土地は如何にして開墾されたか

早期のユタのすべての町々は経済的に繁栄の中心地となった。すべての家族が家が必要とした。春にはこの中心地となった。すべての家族が家が必要とした。春にはこの中心地の周辺一帯に相当広範囲に亘って植付けがなされた。そして溪流にはダムが設けられ運河が掘られた。二十人から四十人の男たちが牛を用いて固く乾ききった土を起して溝をつくった。すべての村に馬に蹄鉄をつけ、鋤を修繕する為の鉄工場が建てられた。畑は時には水に満たされ、この処女地に作物はよく成長した。すべての作業は共同で行われた。運河や橋梁などが利用されたのはその首都に鉄道が敷設されてからであった。けれども早期の農民たちは、よく結合して可なり大規模な作業をしたのである。協力の精神に培われた人々は整然とした統制の下に水を分ち合い一八七〇年以前には農民は水を同等に分配して使用した。

○かもめといな

一八四八年の春は、大ソルト・レーク一面に亘って美しい麦畑がひろがり豊作が予想さ

れた。しかし突然予期しない事件が起つた。そしてそれは人々を荒廢に歸してしまふかも知らなかつた。四月に突如として、いなごの大群が麦畑を襲い、彼らが気がついた頃には既に畑を二掃して麦の新芽を食い尽くしてしまおうとしていたのである。數百エーカーの畑が荒らされ、人々は日夜通してこの昆虫と戦つた。遂に開拓者たちは断食と祈りを以て神に助けを求めらるゝことに決したのである。彼らの祈りは答えられた。二、三日の内に大ソルト・レークの島から數千のかもめが飛来して、このいなごの大群を急襲し、全滅させたのである。いなごは消滅し、かもめは湖のふところの島に戻つて行つたのである。作物は救われた。そしてこの日から、かもめはユタの象徴と見なされるようになったのである。ユタに於ては、かもめを殺す者は居ない。この美しい白い翼の天使の援けは、人々の勤勉に対する報酬として、又切なる祈りに對する答えとして神のとりなしであるとして、感謝の念と重い罰を以て保護されているのである。

○ユタ領土の組織

人々はそれぞれ各地に於て、自ら統治する

方法を知らずまた公的生活の律法や、原則をも持っていたが一八四八年の始めに、各都市、開拓者間に、一つの自治体に結合しようという望みが生じた。彼らが定着した土地は、ガドリユピ・ヒダルゴ条約によつてアメリカ合衆國に譲渡されたのである。そしてこれもユタ移民者たちの援助によるのである。そこで彼らは、彼らの土地がアメリカ合衆國の新しい領土として認められることを切望したのである。人々は最初から州となることを望み、ブリガム・ヤングが宗教的指導者であつたので政治的生活に於ても彼らを導くように希望したのである。ブリガム・ヤングの召集で一八四九年、二月にソルト・レーク市で大会が開かれ、會員たちは州政府の憲法を起草した。州庁組織の必要事項は、すべてを考へて、只ワシントン政府の認可を待つばかりであつた。憲法草案と共に覚書がした、められ共にワシントンに送られた。覚書には新領土はデゼレト州として認められるように申請してあつた。提案された憲法には次のような面白い箇条が多く含まれていた。

すべての人は自己の責任に於て、すべての問題に就て自由に彼の意見又は感情を述べ、書き、出版することが出来る。言論と出

版の自由を拘束する律法は許されない。

憲法は合衆國の憲法に従つて三権分立の政治組織を採用した。下院が新領土の州としての資格に就て考慮している内に選挙が行われ、てブリガム・ヤングが仮政府の知事となつた。立法機關も選出され、道路及び橋梁の適切な維持管理に關しての最初の法律が通過した。二番目の法律はデゼレト州大学の創設であつた。

下院はユタを州として認めなかつたが領土として認め、合衆國の大統領ミラード・フィロモアは、ブリガム・ヤングを州知事に任命した。數週間の内に彼らの行政機關は活動を開始したのであつた。

立法機關による多くの法律が開拓者たちの經濟的及び知育的思想を示している。その一例として泥酔と冒瀆を参照したものがある。如何なる者とも神を冒瀆する者は重罪に処す。泥酔した者も又同様に重い罰を負わされる。インディアン人の奴隸を禁止する法律もあり、不貞、偽造、偽作等に対しては頗る厳格な処置がとられた。最も興味深いのは、一八五一年に通過した最初の学校法及びソルト・レーク市に公立図書館を設置した一八五二年の法律である。

○早期の製造業

産業はユタの歴史の土台をなしている。人々は家内産業を信じ家内生産者であった。経済的三要件の内の資本は当初欠乏していたが他の二つ、土地と労働は実在したのである。当初、必然的に家内工業が実施されたのである。各家庭は毛を梳き布を織る小さな中心地となった。鹿皮から手袋やシャツが作られ婦人たちは裁縫に多くの時間を費した。早期の製粉所はチャールス・クリスモン及びジョン・ネフにあった。又すべての町には木材が豊富にあり、製材所が設けられたが最初の頃は旧式のわくに張った大鋸が使用された。早く一八五二年頃から州の南部に鉄鉱所が発展し、同じこの年に釘が製造された。その時より製鉄業はユタに於て大いに発展して来たのである。一八五四年にはソレド・レック市に鋸鋸所が設置され、ソルト・レック市北方の砂床は特に製錬に利用された。幸いにもユタの入殖者たちは大部分がヨーロッパから来たのでその中には秀れた職人や技術者や農夫や製造業者が居た。一八五〇年迄には、ソルト・レック市に小さな毛織物工場が出来、その後間もなくして、鞣皮工場が出来た。一八五

二年に開拓者たちは陶器類、フランネル、綾織綿布麻織物、靴などを製造した。最初の製靴工場は発展して遂にセント・ルイスから太平洋岸に至る迄の地域に於ける最大なものとなった。この早期時代に既に甜菜から砂糖がつくられ、今日、この甜菜砂糖が他の如何なる生産物よりも、ユタに、より多くの利益をもれらすことがわかった。反物や毛布が毛織機で織られ、鹿皮で衣服がつくられた。一八五六年に農業会が組織され、一八五五年度の領土議会は、半エーカーの土地に成長した亜麻仁、大麻、馬鈴薯などの最大なる収穫に対し報賞した。一八五四年に議会は商品価値のある石炭の炭層発見者に対し一千弗を提供した。鉄鉱業を發展さす目的を以て一八五三年にプロボオに会社が組織された。

○早期の試練と困難

入殖当初には多くの試練と苦難が伴った。しばしば起る旱魃^{かんばつ}の為、穀物や牧草の収穫は常におびやかされ、又果物は霜によって傷められた。私たちは既に、一八四八年に、如何に、いなごによる災害を蒙ろうとしたかに就て述べたが、一八五五年に更に他の災害が開拓者たちを襲ったのであった。バッタが畑に

群がっていなごと同様に作物を全滅させようとしたのである。人々はあらゆる方法を以てこれと戦った。数千エーカーの麦は食い尽くされ牧草は文字通り枯れ果て、しまった。更に悪いことにはその次の冬は最も厳しかった。多くの貧しい家族は草木の根や生皮を配給してもらったのである。パンや肉にありつけるのは贅沢な方であった。野犬は殺されて食用に供せられた。かもしかや鹿を見つけた猟師は誠に幸福で、若しそれが射止められた時は、隣人や友人たち、みんなに分配されたのであった。この当時の雑誌の一つに、次のように記されてある。

私たちは三日間、何も食べなかった。私の兄のロレンゾは猟師からもらった小さな一片の鹿の肉を私たちに送ってくれた。私たちはそれをよく味った。今夜遅く、私たちは、カリフォルニアの開拓団の一行がメリケン粉を馬肉と代えたがっていると聞いた。私は明日馬を射ちに行こう。神様が再び私たちにパンを与えて下さるのかも知れない。私たちは私たちの信仰をよるめかしてはならない、常に神の栄光を讃美して歌おう。

他の雑誌には次の通り記されてある。

(三九九頁へつづく)



各神権時代に神はその僕に真理の光を与えた

ジョセフ・フィールディング・スミス

(十二使徒評議員会長)

主なる神はすべてのことを知り給うその大いなる知恵の内に、又始めより終りを知りつゝ人間の弱さと悪魔の能力を覚つて居られた。神は背教の時期を見越し、代々に真理を継続する為に権威権能の再附託の必要なることを見抜いて居られた。このようにして歴史を通じ、霊的な暗黒が地上を覆つてしまおうとした時、神は予言者として知られる信頼する僕に真理の光をもたらし、光明の時代を回復したのであった。このような時期を我々は神権の時代と呼ぶのである。

デイスベンセイション（神権の時代）は辞典によると次のような意味がある。

・ 施行、分配、統治、管理、神性政治、神による任命ととりきめ、神性に任命された秩序又はシステム。

教会の観点によると

・ 福音のデイスベンセイションは、神よりの委任により神性に選ばれた役員に、神の言葉の伝道及び、すべての儀式を執行する権威権能を許与すると言うように定義される。然しながらデイスベンセイションは屢々更に追加された権能を内蔵し、人々に対する特別の任務又は警告を包含し、民と特別な、又明確な誓約をなし、選ばれた予言者たちに他の予

言者たちが受ける以上の特別の権能を与えるのである。

このようにして我々は、デイスベンセイションは或一定の時期の爲の権威権能の再附託であるばかりでなく特別の言者たちに主の民を取扱う神権の権威及び鍵を特に許与することでもあるのである。

アベル、エライヤン、エライジヤ、バプテスマのヨハネ及びパウロは福音のデイスベンセイションを持っていた。

我々はアブラハムからモーゼの間に住んだイザヤス、ガド、エレミ、エリフ、カレブ、エツロ、皆が福音の満ち足れる祝福を享受していたことを知っている（教義と聖約八四・六一―三）彼らが如何なる民に務めたか、又彼等が福音のデイスベンセイションを持っていたかはまだ現さるべき真理である。

いくつの神権時代があったかは知られていない。教会の早期時代のデビッド・V・パッチン長老は七つと宣言している。然しながら多くの神権時代を持っていたモルモン経の民に考慮が払われていない。ジエレドの民は新天地に一千四百年間存在した文明を打建てるべく、バビロンを去った。リーハイとその移民たちはニーハイの民の下に神権時代を持って

いた。イスラエルの失われた支族は主の復活後の訪問を受け彼らの神権時代を持ち、又救主が来た時代に生きていたリーハイ及びニーハイも福音の神権時代を持っていた。聖書史に於ては福音の神権時代は次のように挙げられる。

一、アダムの神権時代

アダムはすべての神権時代の頭に立っている。神権は最初にアダムに与えられた。彼は最初の大管長会を得た。そしてその鍵を代々握った。彼はそれを創世記一・二六、二七、二八、にあるように此の世が形成される前、創造の時に得たのである。彼はすべての生物を統治する権威を与えられていた。これが神権の性質である。各人は彼の神権時代の大管長会の権を握り、一人の人アダムがそれ等すべての大管長会の権を握る。アダムは彼の大管長会及び権威を主から受取ったが最後の神権時代の終りに於てキリストが王国を父に提供する迄、完全に受けることは出来ないのである。

二、エヅラの神権時代

神は大部分の者が福音の計画から背教するのでエノクに神権時代を許与することが必要であると思われた。エノクの忠実さにより彼

とその民は移されたのである。

三、ノアの神権時代

時の経過と共に生存せる住民は腐敗して行った。義の説教者は警告する神権時代を受けた。民は悔改めなかつた。彼は主によって箱船を造るよう命ぜられ七人の家族と共に洪水による破滅から救われた。

四、アブラハムの神権時代

異教徒の家族から召されて、アブラハムは、神権時代を与えられた。そして主は彼と特別の聖約をなした。即ち彼及び彼の子孫を通じて地上のすべての国民は祝福されること更にすべて福音を受入れる者は彼の子孫に数えられるであろうことである。

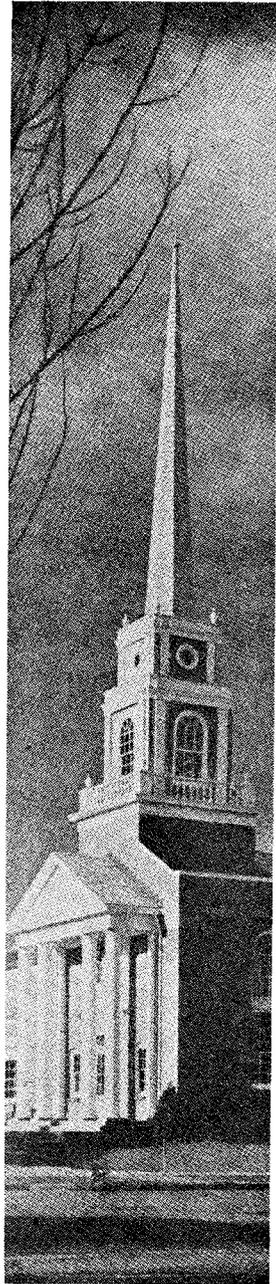
五、モーゼの神権時代

飢饉、エジプトの奴隷及び偶像礼拝がイスラエル人を背教させた。偉大なる律法者、モーゼはイスラエル人を集合して約束の地に導く神権時代を与えられた。

六、時の絶頂に於ける神権時代

或場合、これは救主又は使徒の神権時代と参照される。これはキリスト及びその使徒の伝道であった。キリストは律法を成就する為に来たり、権威権能の鍵はペテロ、ヤコブ、（三九九頁へつづく）

ともに考えよう



真理を愛する

小林幸司

(仙台支部)

真理とは「事物の現在あるがまま、過去にありしまま、未来にあるがままの知識」である。ジョセフ・スミスに啓示されました。キリストは真理について「汝らもし常にわが言におらば、真にわが弟子なり。また真理を知らん、しかして真理は汝らに自由を得さずべし」とおうせになつています。私たちは真理ということを目下日常生活に数多く使い、そしてそのうえに基づいた生活をするべくつとめようとしています。しかし私たちが実際生活において、真理に基いて生活しようとするとき

に、必ず内部的または外部的な障害が私たちのうえにのしかかってくる。そしてこの圧力が往々にして、私たちを正しい真理の認識と、それにもといて置く正しい行動から分離せしめ、もはや空虚な意味しか持たない真理ということばに従つて。なにかしらに圧迫せられた気持ちで生活するというハメにおちります。私たちはこのような結果を招く人間の心の中に内在する内部的障害と、自分以外の原因による外部的障害によってなされる害悪を除去するためにどうしたらよいのでしょ

うか。私はこの害悪を取りはぶくために、自分自身でひとつの解決策を持っています。それは自分の欠点を、つまり内部的障害をいろいろな理由や装飾をつけて、それにペールをかけることをしないで、まっ正面からみつめ、正していくということにあります。そしてこうすることにより、徐々に自己を圧迫している外部的障害の原因がなによつてなされていくかが判断できると思っています。なぜならば自分が清潔であるときには、他人のきたなきがよくわかるからです。

さてクリスチャンの中には、律法を恐れている人がいます。つまりこれをするには罪であるとか、あはると破門されるとか、また知恵のこぼれを破るとどうなるとか、また律法を破ることにあまりたいした意味を持たせない人もいます。さらには人の心に、律法がいかにして人を義入たらしめるかを説く前に、律法を、それに対する恐怖とともに人の心に吹き込む人がいます。この三種の人々は各自、自分のうちに欠点(内部的障害)を持っています。律法を恐れる人は自分自身を忘れている人です。なぜならばその人は、自分のうちに正しく意思する力を持っていません。また第二の人は正義を欠いています。なぜならば律法は神の正義より出たものだからです。第三の人はキリストの希望と愛を欠いています。なぜならば人の心に恐怖を吹き込むからです。

このように正しい個人としての意思を持たず、正義に基いた律法を破り、キリストの福音を否定することは、私たちの社会生活においても教会の中においてもよくみられることであります。このような態度を多かれ少かれ持った私たちは、往々にして誤った認識をします。たとえば、人間というものは間近にあるものに、絶対的な力を持たせる誤った考え方をよく持ちます。その結果私たちは教会を絶対的なものとして、すべてそこより出ずるものに対して、排他的な信頼を持たせようとして、ついには宗教の本質を教会に移してしまふことがあります。たしかに教会は私たちの集会の地として、非常に大きな力を神から授かっています。それにもかかわらず宗教の本質は「神を求める私たち一人々々の人間の心情と神との間の霊的交渉」(ローエル・L・ベニオン著、生活の目標)であり、そのうえに立ってこそ初めて予言者も教会も意義あるものになると思います。私たちはこの根本的な考えにおいてしばしばあやまちを、小さな物事のひとつひとつに犯します。

また私たちが真理の光を求めてさまよい、そのうえに立った確実な信頼を私たちの魂のうえにきざみつけるのでないならば、教会に對する忠実も服従も、また伝道の重要性もすべてむなしいものです。なぜならば私たちは神に忠実であらんと真理を探求し、獲得しようとしています。それに反して真理の追求を中途はんばなものにし、もっぱら自分の言語と行動において不完全な統一をなそうとするのは、明らかに誤りであります。なぜならばなによりも第一に神への忠実を理解するためには、真理を理解し愛することが先決であるからです。この意味から私たちが悔い改めを日々感ずるのは、強制的な義務としてではありません。自由な権利として与えられてこそ、神が人間の発展のために与えてくださった自由意思が大きな意味を持ちます。人が自己のうちに善いものを求めようとする積極的な、正義に基づいた意思を持たない限り、どうして神に對する不変のあかしを持つことができるでしょう。あかしは永遠なものであります。

この永遠なるあかしにより一歩でもあゆみを近づけるためにこそ、私たちは努力しているのではないのでしょうか。このようにして自己の欠点と他からの圧迫を、正しい意思の力で克服するときに、初めて真理を理解することから真理を愛することが生れるのであります。

美しい作品からよい趣味が生まれるように、強く正しい真理に對する理解を私たちがするときに、次のような確信が生まれると思えます。「絶え間なく努力し、絶え間なく進歩するために、常に望み、常に折り、常に意思し、常に行動を起こそうとする積極的な態度

度、そして物事のひとつひとつを完全なまわまで高めようとする力強い意思が、私たちを愛、善、信仰、希望という真理に、そしてすべての真理の源である全能なる天父なる神に導いてくれる」そして「このように欲し、このように努力するときに、真理のみたまは私たちにより高い真理をさとらしめ、それに対する神へのいっそうの感謝を呼び起こすと。



宣教師が始めて伝道する時、何等の困難も失望も生じないことを期待することは無理である。そして宣教師たる貴方がその困難を回避しようとするのはよくない。その困難を

このようにして私たちは、日々の生活において正しく認識された天父なる神の真理の光を着実に獲得し、役立たせ、そしてそうすることに喜びをみいだすときに、さらに一步神理に対する愛をまし、真理についてのキリストのことは「汝らもし常にわが言におらば、真にわが弟子なり。また真理を知らん。しかして真理は汝らに自由を得さすべし」の中に自由の境がいにしを置きうるとともに、ジヨ

——よき伝道者たらんとするあなたへ贈る——

成功する宣教師

ジヨン・A・ウイヅソー

克服することによってのみそれ以上の困難に立向う力が得られるのである。貴方がトラックディングで戸口を立ててノックをした時、そして、その戸が開かれたが貴方の言葉を耳にするや否やその戸が閉ざれてしまった時、貴方は、貴方のメッセージを望まない人々に提供しようとするによって貴方の時間を無駄にしているのではなか

セフ・スミスに啓示された永遠なる真理に歩を近づけていけると思っています。そしてひくきを常に向上せんと働いておられる天父なる神をイエス・キリストの大きな愛にそうべく私たちが生をうけたこの世において、あくことのない真理への探求が、私たちに与えられた大いなる権利であり、福音であることを私は深く確信しています。(学生・二十歳)

ろうか？貴方のメッセージを欲して居る人が果して居るだろうか？と考えるであろう。この感じは人を陥れる悪魔の作用である。貴方自身の力に自信を欠き又貴方のメッセージの価値に対する自身を欠き、ひいては失望となり、恐怖となる。失望した人は力を持たない。自分の言葉にわずかしか価値がないと思う者はびくびくしながら語る。常に人に対す

る恐怖心が伴う。恐怖心は人の致命的な敵であり、悪魔の最も有効な武器である。恐れは先ず自制心を失わせ、人をして役に立たない無能な者としてしまい、ひいてはその肉体、靈魂共に滅してしまふのである。世の中には今、福音の助けを求めていることを自覚しない。

地上の表面上の状態を眺めると人類は誠に不幸である。貧困は普く人々は病魔に犯されている。青年には機会は恵まれず、老人は過つた自分の生涯を嘆いている。無益な戦争は止るところを知らない。人間に必要なすべてを産する地球が自分には無援のような気がし、人生は暗く不可解のように感ぜられる。けれども貴方自身を欺いてはならない。人間は現状に満足出来ない。少くとも人類は偶発的な又は死後不明の人生観によつては満足されない。

人間は本質的に真理を愛し、人の靈魂の中には真理探求の念が、何物よりも強く蔽われているのである。或人々にはそれが冬眠の状態にあるかも知れない。けれどもそこには春の目覚めが待つて居り、ひとたびこれが目覚めれば人生に於ける最大なる感情となるのである。予言者ジョセフ・スミスの早期の啓示に、主は次のような大切な言を述べている。

野は既に獲入れに白くなっている。迷信と暗黒の時代から漸次改革と科学の光明の時代へと進み、ここ教世紀、人類社会は真理の富を準備して来た。今や世界は当面の大きな問題の解決の為、福音を待ち望んでいるのである。

我々は主を信頼すればよい。野は既に獲入れに白くなっている。我々の与えるものを考えて見よう。先づ我々は人生の説明を与えらる。人はこの世に生れて来る前に生存し、永遠なる存在である。彼はこの地上に於て、人類の進歩の神聖な計画に調和している。そして彼は来世に於ても進歩して生きて行く。この原則の内に人生に於けるすべての問題の解決の鍵があるのである。次に我々は幸福をもたらす、生活と行動の律法を教える。すべての人は神の子であり、実際に兄弟姉妹であるから、すべての生活必需品が備えられるべきである。協力と兄弟愛が実際に自治の教会を造る。次に我々は肉体と靈の法則に従うことにより、人が如何に高度な人的偉力に高められるかを示す。智慧の言葉を通じて得られる健康な肉体、教育を通じての健全な精神、お祈りや、生ける者、死せる者への奉仕、真理への献身によつて得られる喜び、貴方は福音

がもたらすところのものが如何に素晴らしいものであるか御存じですか？ それは誠に筆舌に尽し難いものである。そして世界は今これを要求しているのである。これを興味と希望が湧くように伝えるのが我々の任務である。人に接近する時まずその人の知能程度に

応じて接し、漸次高度な知識と概念に導くことが大切である。その日の生活に追われているよう人々は経済的な啓蒙を以て近づけばよい。何度も拒絶された老婦人に、如何にすれば健康と美を維持出来るか、その処方箋を持つていますよと言つて接近することにより福音に導く長老は賢明である。彼が智慧の言葉を教え終つたら漸次、高潔な原則的教義に導くべきである。もし最初の接触に於て、より實際的な方法を用いるなら更に前進することが出来るであろう。人は身近かなことに関心を持つ、先づ興味を持たせることが大切である。なまはんなかな働らきは実を結ばない。貴方の勢力の一部を消費するような行為は大きな損失である。教会初期の宣教師に主は啓示を以て、全力を以て鎌をふるえ、と命ぜられていた。貴方が失敗した時、忠実に注意深くその後をふりかえつて見なさい。貴方はまだ全力を尽していないか？

ろうや。伝道に全精神を打込む時に成功するのである。啓示は更に続いている。刈入れんと欲する者はその全力を以て鎌を打ちふり、日の暮れぬ内に刈上げよ。鎌を振うだけでは不十分である。日の暮れぬ内に収獲してしまわねばならない。

もしも貴方が全力を尽して辛抱強く働らくなら貴方に勇氣が来る。無關心な怠惰な人は心に臆するようになる。この心が生ずる時、それが不平不満となる。勇氣は信仰を父とし、勤勉を母とし、明確なる真理の知識をその動力としている。勇氣は信仰強く勤勉な者への報酬である。鎌を打振って刈入れる者は神の者と呼ばれる。この故に汝若し我に求むるならば与えられん。叩かば開かれん。真理の爲に、永遠にその真理を保持して働らく者への天界からの賜が勇氣である。受入れられる勇氣は、高慢或は脅迫的なものではない。それは、風や地震や烈火の様なものではなくむしろ人の魂に向って、理解される迄、止まずにさゝやく静かな小さな声である、伝道地に於ける、貴方の働らきは謙遜な精神を以てなされねばならない。主の仕事は貴方の任務である。貴方は単に奉仕すべき道具である。貴方には、その光栄を自分に要求する権利はな

い。教会の早期の働らき手たちに与えた主の言葉を思い起しなさい。それは今日我々に適用されるのである。誰にでもへり下って愛に満ち、信仰と希望と慈悲を以てすべてのこゝろに堪え忍ばざれば如何なる信頼を受けるとも、この仕事を援けることは出来ない。これは宣教師の爲の法則である。へり下った愛は生命を勇氣あるものとし、忍耐と努力の力を与える。

貴方は多分、ウィルフォード・ウッドラフが英国で大きな伝道の成果を収めたことを聞いたであろう。そして同僚宣教師に向って「どうして我々は今日、同様の成功を収め得ないのであるか？」と問うたであろう。誠に一八四〇年、ウッドラフ兄弟が英国のポテリで働らいていた時、御霊に動かされて、彼の全く知らないヘレフォードンヤで光を求めて祈っている、一國の人の処へ導かれ、八ヶ月内に一人を除いて全部を又グロセットンヤ・ウォセタシヤに住む他の人々をも総計、一八〇〇名以上の人を改宗したのである。このような顯著な伝道の成果は教会史上唯一である。この直後ウッドラフ兄弟、キムボール兄弟、ジョージ・A・スミス兄弟などの力強い使徒たちがロンドンに行き伝道したが、一向にはかどら

ず二十三日間にわずかに一人の改宗者をつくただけである。その後数カ月かけて堅実な歩みのもとに数百の人々がキリストの許に集められたのである。

真のキリストの教会に、ここに一人あそこに一人と数百数千の改宗者が入って来たのである。回復されたイエス・キリストの福音に改宗することはその人、個人に關することである。末日聖徒イエス・キリスト教会に於ては、すべてのたらしいはそれ自身の底の上に立たねばならぬ。と教える。これは誤れる過去の慣習と伝統を捨て、完全な新しい真理を受入れることである。貴方の伝道している処で義人は皆見出されてしまったと聞いても失望してはならない。何処に於ても真理のメッセージを待っている人々が数千数万と居るのである。我々は我々に耳を傾けない町を呪ってはならない。恐らくは上手に伝道していないからである。我々は一般民衆に向って足の塵を払うべきではない。恐らく少数の指導者によって過られているのだから。

静かに落付いてよく考えなさい、そうすれば貴方はほんとうに、野は既に獲入れに白くなっている。ということを知るのである。そして集められんと待っている多くの人が居る

ことに気がつくであろう。

貴方自身のはかり

貴方の伝道が終らんとする時、聞え、すべての真理と光を守ったか？

誘惑の力に負けなかったか？

貴方の全力を尽したか？

貴方の言葉が霊的なものであったら

或人々は福音を受入れたであろうに

貴方に勇気が欠けていたのではなからうか？

貴方の働らきが必要とされているのに

もし貴方が享樂に耽っていたとしたら

貴方は警告をなぜ聞かなかったのだろうか

後悔するであろう。

もし貴方が遊ぶことに時間を無駄にしているなら、

貴方には支払わねばならない代価がある

貴方は人々の靈魂を養ったか？

この言葉で貴方自身をはかることが出来る

であろう。

ここで貴方の伝道が終わったら

もう引き延ばす時間はない。

貴方は、費した時間を単に、弗、セント、

円ではかることは出来ない。

真理が訪れた時、恐れるか

又は喜びで満たされるか

そこに貴方のお召しをはかるはかりがある

貴方は人々の靈魂を養ったか？

《系図 I》

北海道地方部系図指導者、

石井正通兄弟、貴重なる

系図文献を寄贈

室蘭支部の石井正道兄弟はこの秋の大会の時に西支部の浅田兄弟を通じて、家系々図の合理的研究法、古事類苑姓名の研究日本キリシタン系図表、野口英世及石川啄木の系図其他多くの貴重な系図文献を伝道本部宛寄贈され、系図愛好者一同に大変喜ばれ感謝されている。これらは中央支部にある伝道部系図図書室に、今迄保存してある書籍と共に置かれて普く一般の会員並に求道者の閲覧に供しているので皆さんが大いに御利用下さるようお奨めします。家系々図の合理的研究は地方部系図合同集会のテキストとして勉強して居ますので委員ばかりでなく系図愛好者が多数出席

されるよう希望しています。

又系図探求者の為に日本古書通信(月刊)

が参考になるのではないかと左記御通知下さった。

発行所、日本古書通信社、電二九一―五四五

八

東京都千代田区神田神保町一の四五

購読料(送料共)一ヶ月 五〇円

六ヶ月 三〇〇円

一ケ年 五五〇円

更に兵庫県加西郡北条町、古家実三書店の古書目録より次の書籍を参考迄として通知して来られた。

広益諸家人名録、筑後柳川清田家系図
諸家大系図、尊卑分脈、本朝武家系図

石井兄弟は系図の専門的研究家として早くから本伝道部の為に尽して来られたが、お気の毒にも二ヶ年近くに亘って病床に身を横えられたが、この程全快し再起の決心をお便りして来られた。その一節を掲げよう。

私もあの年(三三年)の秋に発病し、北海道大学の附属病院で手術を受け一旦生死の境を彷徨致しましたが主のお恵を受けて生命を全うし、現在は会社の勤務を致して居りま

す。病名は何やら珍奇なものでいはいはゞ癌腫の悪流のような腫物が左肺上葉に発生しましたので左肺上葉を切除して腫物の成長を抑えた訳です。その手術に際し、咽喉下部の発音神経がメスに触れた為、著しく発音が困難となりました。但し全然会話が不能では無く曲りなりに電話も掛けられますので、其の事は今ではあまり気に致して居りません。たゞ左乳附近の肋骨を四本も取除いた為、左胸部に大部大きな瘻痕と陥没を残し、心臓が皮膚の下下に搏動している状態で、危険が大きいのと、息切が致し、この為発音の困難と相俟って、病前の活動力は到底望めず、系図の仕事も責任があり乍ら健康上果たす事が出来ず大変申訳無く存じている次第です。でも精神上では実に平安な生活に入る事が出来ましたよ。うで、一年八ヶ月間の病床生活は私に大きな精神上の成長を与えてくれました。この事は負惜しみて申上るのではなく、私のハッキリした自覚です。どうぞこの点では御放念下さいますようお願いします。現実の生活一日がそれ丈自分にとっては過分に与えられた生命であることを身を以て感じ取って居ります……

《系図 II》

神殿の結婚

或夜私は神殿の扉の外に立って中に居る友だちを待っていた。

暫く待っている間、私は多くのものを眺め、多くのことを考えた。

私は、この俗世間から、テンブル・スクエアを区別している堅固な壁を見つめた。

それから私の眼は、あの光っている尖塔を追って頂上に立っている燦然たるモロナイ天使を見上げた。

その上にかぶさった黒い大空一面に、きらきらと星がまばたいていた。

三々五々、道を急ぐ人の群、腕組み、手をとる二人づれ、

希望に顔を輝かせて夢中で前へ進んで行く。ようこそ、扉は開かれて吸われるように消え

て行く。

老いも若きも、一かたまりにかたまつて、待ちこがれた聖なる儀式に、胸おどらせつ、扉の内に注ぎこまれる。

美しいウエディングドレスの、

ひだをくづさないようにしづしづと

花嫁さんが、扉から出て来た。

夢によつたような、そのおももち

愛する夫につきそわれて、

両親たちに、見守られながら。

若き人、年老える人

私はここに信仰に生きる人々を見た。

お、私の愛する友が近づいて来る

あの扉の内、とり行われた

代々のちぎりや結び固めに

靈感された興奮からさめやらす、

燃ゆる心は 炎となつて

まなこからほとばしり出る

重い扉から 彼らは道に降り立った。

が為そうとして居りたもう事がらや、神の王国がどうして、またどんな風にもこの末の世においてこれから指導されて行くべきかに就いて、使者から指示や通知を受けた。

私の父の暮し向は非常に窮屈であったから、私たちは自ら働かねばならなかった。機会がある時には日傭の出かせぎやその他の働きをした。ある時は家で働き、ある時は外仕事を為し、絶え間なく働いてまず安楽に一家を養って行くことができた。

十一、ジョセフ・スミスの受けた誘惑。　ジョセフ・ス

ミスがあつた忘れることのできない始めての訪れをする目的でクモラの丘へ赴いた際、その胸はいろいろな思いで千々に乱れた。彼の父の家族は貧しくて財政的に窮迫していた。多くの債権者は彼らに重苦しくのしかかっていた。あらゆる義の敵サタンはこれらの状態を利用し全力を以て青年ジョセフをはげしく誘惑した。モルモン経の原版は黄金でできている。その本当の価うちはきわめて大きなものであつた。今家族の面している財政上の困難を救うために、それを利用することはできないだろうか。または、その原版と一しよに何かほかのものが埋めてあつて、それをこのような目的に使えないものか。ジョセフがクモラの丘へ近づくとつれてその心の中にサタンが思わせたのはこのような考えであつて、ジョセフは天使が彼に与えた訓戒を一時忘れてしまった。

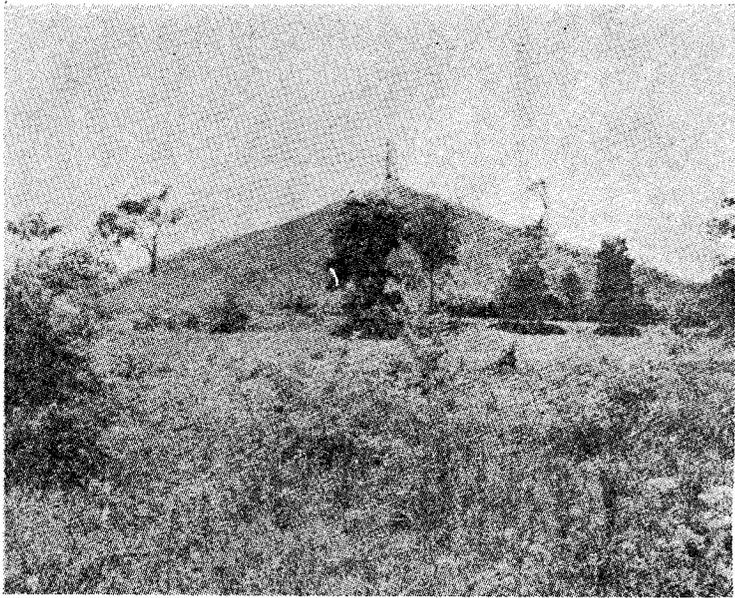
ジョセフはかの記録が隠してあつた地点を何の苦もなく見つけた。草と土をかきのけ、神聖な宝物を入れた函のふたになつてゐた石をてこでこじ開けるのはほんの僅かの間のことであつた。すると、函の中に横向きに置かれた二つの石の上にかの記録があるのが見えた。この記録と一しよに「ウリムとトミム」すなわち銀のふちにはめこんだ二個の透明な宝石を胸当りに取りつけたものも、かの天使が言つたものはみんなあつた。ジョセフは夢中になつて喜んだ。そして手を伸して金版を取り出そうとすると、彼は衝撃を受けた。この衝撃を受けて彼はやや力がぬけた。彼はちよつとためらつた末、もう一度金版をとり出そうとすると、今度は前よりもひどい衝撃を受けた。あの記録を手に入れるためには体力と努力さえあれば充分であると思つていたから、この衝撃を受ける原因が彼にわからなかつた。かの金版をとりうとして三度目に手を伸すと、彼はまたかなり猛烈な衝撃を受けて力が抜けへたへたとなつた。彼は非常に興奮してよくも考えずに「なぜあの本を手に入れることができなんだ」と大きな声を出して言つた。すると彼の側近くで一つの声が答えて言つた「汝神の誠命を守り居らざればなり」と。仰ぎ見て彼はびっくりした。そこには先に彼の所へ来た天の使者の姿があつた。

十二、善と悪との力を見る。　ジョセフはへりくだつて悔い改め、祈りの中に主の御恵みを求めた。すると彼に示

現が開かれて主の栄光が彼のまわりに輝やきわたり、彼は義の力をもつ快い影響を感じた。彼がこの示現を見ているうちにかの天使が「見よ」と言った。するとジョセフは鬼畜の怒りにたけり狂ったおびたましい仲間の列に取り巻かれた暗黒の王を見た。悪の示現が彼の前を通り過ぎたとき天使は次のように言った「善人と悪人、聖き者と汚れし者、神の栄光と暗黒の力、このすべてを示したるは汝が今後二つの力を知りて、かの悪魔によりて左右せられまたはうち勝たれざるためなるぞ。見よ、何にても人を誘いて善に導き善を行わしむものは神より出ず。されど何にてもかくの如く為さざるものはかの悪魔より出ず。人類の心に悪を満して暗黒を歩かしめ神を汚さしむる者こそ彼なり。されば汝は今より後彼の道は滅亡に至れど、聖き道は平和と安息に至ることを知るを得ん」と。

ジョセフは更に「かの記録は神の栄光を現わすためにこれまで埋められていた、それはその中にこのアメリカ大陸の古代の民に伝えられたままの完全な福音がのっていて、神の能力によって世に現われるはずであるからである。更にもまた、その翻訳は異邦人たちに及んで彼らの多くが信ずるにちがいない。然る後福音はイスラエルの家に至って、彼らの多くもまたキリストの教会に入れられるにちがいないからである」と告げ知らされた。

十三、予言者の受けた教訓の価値。 この際ジョセフ・



<クモラの丘>

スミスの受けた教訓はいつまでも彼のためになった。この時からジョセフは悪魔の力がよく解って誘惑に抵抗する準備ができた。それから何年も経って、この出来事を人に話すときは彼は「その後いつも私は喜んで神の誠命を守った」と言った。もしもあの教訓がこのような風に授けられなかったならば、後年彼は油断している時に誘惑に陥ってわざわいを受ける結果になったかも知れない。

十四、四年の間隔。千八百二十三年から千八百二十七年に至る四年の間中、ジョセフ・スミスは父親の家族が負っている借金を払い生計を得るために、彼らを助けなければならなかった。彼は機会のある度毎に、ある時には家で働きある時には外仕事をして働いた。千八百二十四年に長兄アルヴィンが亡くなったために、彼が家族のために努力することはなおさら必要になった。千八百二十五年の十月に彼はジョサイヤ・ストールという老紳士の所に備われた。ストール氏はかつて、ペンシルベニヤ州ハーモニーでスペイン人が開発したいくつかの古い銀山について聞き及んでいたので、隠れた宝を探すために彼を備って助けさせたのである。ジョセフは約一ヶ月その仕事に従事したが何らの成果がなかったので、彼はこの親切な紳士を説いてその愚かな冒険的仕事を止めさせた。「モルモン」の予言者ジョセフ・スミスが「錢掘りの山師」であるという叫びはこれがもとで起ったことである。

十五、予言者の結婚。ジョセフはハーモニーに住んでいるストール氏に備われていた間、その地のアイザック・ヘール氏の家に下宿していた。彼がアイザック・ヘール氏の娘エマ・ヘール嬢と会ったのはこの地であり、またこのような事情の下に於てであった。二人の若人の友情は熱烈な愛情となり、約一年三箇月後、千八百二十七年一月八日、ニューヨーク州サウスベインブリッジのターヴィル治安判事によって二人は芽出度く結ばれた。

第九章 ジョセフ・スミス、モルモン経を授かる

神権の回復

(千八百二十七—千八百二十九年)

一、ジョセフ、モルモン経を授かる。千八百二十三年から千八百二十七年に至る間、毎月九月の二十二日にジョセフはかの天使に言いつけられた通りクモラの丘へ行つて、そこで彼のもつ神聖な義務に関するいろいろな事を教えられた。ついに、かの金版「ウリムとトミム」および胸当を渡される日がやってきた。それは千八百二十七年九月の二十二日であった。予言者ジョセフはかの金版が彼の手に渡されるに先立って、モロナイと交した最後の会合の約束を守るためにクモラの丘へ行つた。

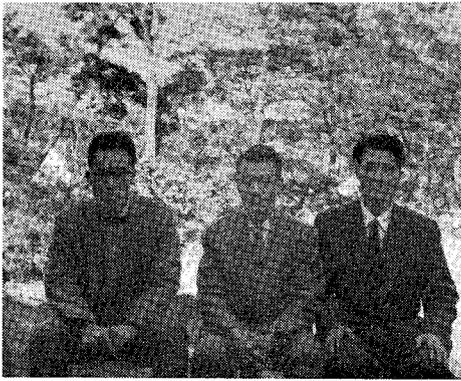
人に交るに信を以てすべし

—東京南支部—

渡部正雄

(聖徒の道編集部)

十一月六日、快晴の安息日の早朝、池上線洗足池ステーションに降り立った私は、まだまだ人通りもない洗足湖畔に沿うて東京南



南支部長会—左より坂井、中東、北山各兄弟

支部へと足を急いだ。晩秋の風は肌身につめたく感じたが輝く朝日に水鳥のはばたく音さへ耳に心地よい。これが東京の街の真中かと疑われる程、紅葉に落付いた湖畔の景色は、さぞかし今日も大勢の観光客に賑わうことであらう。水面に並んだボートも客待ち顔である。けれども今日を安息の聖日として、このような観光地におよそ縁ないかのように湖の彼方に聳ゆる神の宮に集う一団の人々が居る。それが東京南支部の兄弟姉妹たちだ。もうこの素晴らしい建物が改築され支部の建物として使用されるようになってから約三ヶ年になるが、それ以前の数年間は目黒駅近くの洋裁学校、其他或幼稚園などを借りて居たので会員も現在程多くなかったようである。現支部長の中東兄弟と佐藤汎兄弟はこの当初よりの南支部の開拓者である。一九五七年の暮

れに伝道本部で信仰によりめでたく結ばれた渡辺驪兄弟が新任の支部長として、この美しい湖畔の支部に住まわれるようになってから、安息日毎に集う人々がふえて行き、遂にはあの広いホールも満員で立たざるを得ないような状態にたち至ったのであった。この建物の見事な改築も全部支部会員の兄弟によってなされたそうで、私も改築完成祝賀パーティーに出席したが改築に貢献した兄弟たちが晴れやかな額を並べていたのが印象的であった。このホールがあまり立派なので伝道部長さんはすっかり気に入って、それ迄、本部で行われていた東京の会員たちの結婚式はそれ以来全部このホールを使用するようにと決められたそうである。ところが他支部の者に使われては大変だとお膝下の南支部の兄弟姉妹たちがあわてたのかどうか知らないが、前沢兄弟、北山兄弟、堀田兄弟と、そうそうたる支部長会のおれきれきが卒先垂範、先を競うてこのホールで華やかなゴールイン、今や聖餐式後にはモルモン二世のコンテストの会が開かれるという有様である。このホールを仕上げた兄弟たちの鼻も高々と言うところであらう。

午前八時半、既に玄関口に立ってにこにこ

と迎えてくれたホルト長老が突然「南とは暖い処を言うのですか？」と聞く。「そうです貴方のような長老たちがここに迎えてくれ、兄弟姉妹がほんとに一つの家族のように主によって結ばれているこのような支部が暖い南の支部なのです。人は誰でも南向きの家を探し求めて入るように、多くの迷える羊が、日の光である福音を求めて、この南支部を訪れるでしょう」と答えるとホルト長老

は、さも嬉しそうに、にこにこことほ、えんていた。実際にこの支部で日曜学校その他集会の時に特に目立つのは、この宣教師たちだけでなく会員たち特に大神権を持った兄弟たちが、よく始めての人又は求道者たちを歓迎し、案内していることだ。改宗者たちの証の言葉によく、教会に来た時の第一印象がよかつたら、とか、なごやかなふんいきがすっかり気に入ったので、と言うような言葉を聞かされるがこの歓迎陣が如何に大切なものであるかが、伺い知られる。

午前九時二階で坂井兄弟のレッスンで神権会が開かれたがこれと同時に下のホールで、宮城姉妹の指導により子供の日曜学校が開かれる。この支部の子供のクラスはなかなか活潑だ。三つのクラスに分け、下のクラスは庭

に出て草花を採って来て、これをきれいに紙に張らせながら自然を造り給うた神さまを教えている。中のクラスは坂井姉妹がよく生徒の自主性を生かして、それぞれ話をする機会を与えながら、又塗絵その他の視覚教材をよく利用して居られた。最上のクラスは善方姉妹が担当し、最後に皆集って善方姉妹の指揮で一同元氣よく讚美歌を歌って終了する。

大人の日曜学校は十時半から。今迄中村兄弟が会長であったが新しい支部長(支部長、中東幹夫兄弟、第一副支部長、北山栄通兄弟、支部書記、坂井、圭兄弟)が組織されてから今迄系図委員会の会長であった坂井兄弟の後任に代ったので佐藤公彦兄弟になった。坂井兄弟は今迄ほんとに熱心に系図の為に働いて下さったので今後とも伝道部系図委員として働いてもらいたいと思つている。日曜学校は始めてのクラス、高校生、中学生、十八才以上の主として求道者のクラス及び系図のクラスに分級している。始めてのクラスは支部長の中東兄弟自ら担当して居られる。中東兄弟は今迄、地方部MIA指導者として活躍して来られた。私たちにはなじみ深い人である。既に教会に入られてから十一年八ヶ月になられるそうですが、その間の教

会内に於ける活動状況を更によく記録されている。何時か系図の時間に、写真並に詳細な説明を以て記録された三冊のアルバムを見せていただいたが実に立派なもので私たち信者は皆、彼の模範に従わねばならないと強く感ぜさせられた。始めてのクラスは十人以上も出席それに宣教師も加えて、小さな部屋も満員の盛況である。自己紹介が終ると、墨汁の跡も鮮かな中東兄弟の達筆が掛けられた。

道は天地自然の道にして、人は之を行ふものなり。故に天を敬するを以て目的とす。天は人も我も同一に愛す。故に我を愛する心を以て人を愛すべし。

始めての日本人求道者たちに先づこの敬天愛人の大西郷遺訓から入って、父なる神を愛し、汝の隣人を愛せよと教へられた最大なる主の誠を説く兄弟の説教は実に素晴らしい。次に福沢諭吉の言葉が掲げられた。

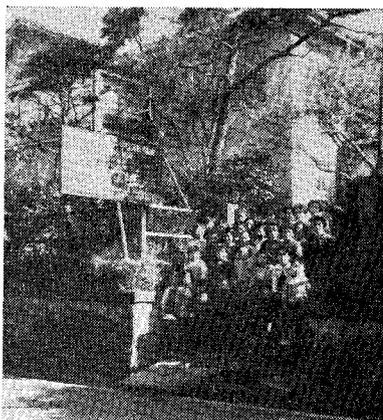
人に交るに信を以てすべし、己人を信じて人亦己を信ず。人々相信じて始めて自他の独立自尊を更にするを得べし。

福音の根本精神である愛と信頼をまず日本人に親しみやすい言葉から説き始められる。兄弟の用意周到な準備に心から敬服した。熱心に聞く求道者たちの顔は輝いていた。やが

てこの中から次々とバプテスマを受ける改宗者が、出るであろう。

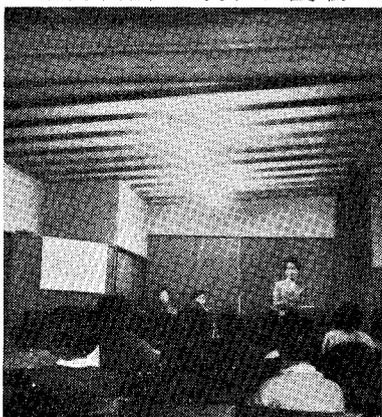
十八才以上のクラスは渡辺兄弟、系図のクラスは中村兄弟、高校生クラスは佐藤兄弟、中学のクラスは中川姉妹がそれぞれ担当している。

引続いて十二時から行われた聖餐式にはまづ新しい役員への支持があり証会に入って兄弟姉妹たちの熱心な証にみたまに満たされて終了、次いで指導者会が開かれた。扶助協会は渡辺姉妹が引続いて会長に支持されたが今迄たよりにして居た長谷川姉妹が地方部指導者の一人として召されたので二人の幼いお子さんを抱えてなかなか大変だろうとお察しす



南支部教会堂と子供の日曜学校

る。MIAの活動もなかなか活潑でハリインパーティの時は、全国お国めぐり。で北海道から九州迄、各地のお国自慢を特設劇場で熱演し、北海道は「アイヌ」、東北は会津磐梯山」、関東は「わらべ」、佐渡は「佐渡おけさ」、関西は「雪女」、九州は「蝶々夫人」と、オールキャストで出演した由、さぞかし素晴らしかったであろうと、見逃したことが悔やまれる。若い会員たちの健脚ぶりもたいしたもの、十一月三日の休日には多くの求道者も交えて、絶好の秋の日本晴れに恵まれて刈寄山に強行軍を完遂したそうだ。



教会堂内部

再び足を運んだ。朝来た時には気がつかなかつたがふと見ると水辺の樹蔭に法衣をまとった大男の銅像が建っている、傍に居たおじさんに聞いたら日蓮さんの像で、何でも日蓮さんがこの池で足を洗われたので洗足池と命名されたとか、私は教会の方を指して「おじさん、あそこに見える美しい建物が私たちの教会ですが、私たちの主イエスは最後の晩餐の時、お弟子さん一人々々の足を洗われて、私が洗ったようにお前たちもお互に洗いあいなさいと教えられたのです。どうぞ一度訪ねて下さい」とチラシを一枚差上げた。おじさんはちっとそのチラシを読んでいる。再び洗足池駅に向う私の頬に晩秋のそよ風が何とも言えない。



モルモン二世コンテスト

支部所在地

阿倍野 大阪市阿倍野区阪南町中一ノ三八
 旭川 旭川市八条五丁目
 福岡 福岡市薬院大通二ノ五五
 群馬 高崎市並履町二七五
 広島 広島市古田町古江四〇〇ノ三
 金沢 金沢市成瀬町一ノ四 野田方
 甲府 甲府市富士見町一
 松本 松本市沢村一六〇四
 室蘭 室蘭市幸町八九
 名古屋 名古屋市中区和区北山町三ノ四一
 新潟 新潟市中大畑町五七七 金井方
 西ノ宮 兵庫県西ノ宮市田代町一一
 岡町 大阪府豊中市岡町北二ノ一八
 岡山 岡山市國富一ノ一九 丹下方
 小樽 小樽市富岡町一ノ三五
 三ノ宮 神戸市灘区篠原本町四ノ三五
 札幌 札幌市北二条西三四丁目
 仙台 仙台市光禪寺通り二八
 東京中央 東京都渋谷区八幡通一ノ三四
 東京北 東京都豊島区椎名町四ノ二〇六八
 東京南 東京都大田区南千束町二四九
 東京西 東京都武蔵野市吉祥寺三六八
 山形 山形市諏訪町三九七
 柳井 山口県柳井市今市三九一
 横浜 横浜市中港北区篠原町二九
 横浜 横濱市野村野嵩区三三八
 那覇 沖縄那覇市松尾区一三九

編集後記

再びクリスマスシーズンがやって来ましたので、歌や劇の準備でお忙がしい事と思えます。

今年もクリスマスの大管長メッセージにあるように本当のクリスマスは霊的なお祝いの日でありますからその目的が物質的なもののために見劣りし軽んぜられる事のないようにしたいものです。

クリスマスに当り史上最大のビッグ・ニュースである「救主がお生れになったこと」の喜ばしさを一人でも多くの人に知らせましよう。(大塚)

わが教会にも新しい波がおしよせ、三十才未満の日本人地方部長会が組織され、続々各支部に新しい支部長会が組織されています。

地方部の支部を巡回している、東中央地方部長会に、支部の会員からは「教会が、自分たちのものになって来たように感じられる」という言葉が寄せられています。

これからは地方部大会における説教を記録し、聖徒の道に載せる方針であります。これらの頁は皆さまの期待にかなうことと思えます。(福田)



12月号表紙一きよしのよる

月刊「聖徒の道」第四卷第十二号

一九六〇年十二月一日発行

実価 一ケ年 四五〇円

一部 四十円

編集者
 発行人

ポール・C・アンドラス

発行所

東京都港区麻布広尾町十四

末日聖徒イエス・キリスト教会

北部極東伝道部

内 案 書 図

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|--------|-------|-------|--------|-------|-------|---------|--------|-------|---------|---------|----------|-----------|--------|--------|--------|
| 教義と聖約 | 高価なる真珠 | モルモン経 | 教義と聖約 | 高価なる真珠 | モルモン経 | モルモン経 | 信仰箇条の研究 | モルモンとは | 完成への道 | 初等協会教科書 | 総合聖句の手引 | 日本系図探究要覧 | 古代アメリカの生活 | 旧約聖書物語 | 家督権の祝福 | 扶助協会手引 |
| | 上質革製合本 | | 合本 | | (新訳) | | | | | | | | | | | |
| | 一一〇〇円 | | 三〇〇円 | | 二〇〇円 | | 三三〇円 | 一〇〇円 | 二〇〇円 | 一五〇円 | 一五〇円 | 一〇〇円 | 一〇〇円 | 一五〇円 | 一〇〇円 | 五〇〇円 |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|--------|------|-------|---------|------|-----------|------------|------|-----------|---------------|-----------|---------|------------|---------|---------|-----------|-------|------------|
| 宗教と生活 | よきおとづれ | 聖書物語 | 福音の実践 | 聖典中の指導者 | MIA用 | 役員と指導書の手引 | モルモン経研究ガイド | 真理の道 | MIA手引(付録) | 演劇指導者基礎知識と脚本集 | 演説が上手になる法 | 社交ダンス必携 | 新しいフオークダンス | 讃美歌及び歌集 | 末日聖徒讃美歌 | 末日聖徒讃美歌抜萃 | 子等は歌う | レクリエーション歌集 |
| II | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 一五〇円 | 一〇〇円 | 一五〇円 | 一五〇円 | 一五〇円 | 一〇〇円 | 一〇〇円 | 一〇〇円 | 一〇〇円 | 七五円 | 一五〇円 | 一五〇円 | 一六〇円 | 五〇〇円 | 三〇〇円 | 三〇〇円 | 一〇〇円 | 一〇〇円 | 四〇〇円 |

註文は各支部長へ

一九五八年三月十七日
第三編郵便物認可第四卷第十七号
振替口座東京七六二二六番

発行人
編集人

ポール・C・アンドラス

発行所

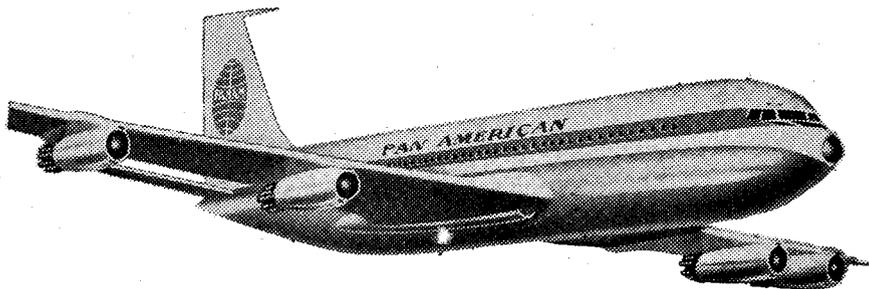
末日聖徒イエス・キリスト教会
北極極東伝道部

東京都港区麻布広尾町十四

JETS

航空界のリーダー パン アメリカンが誇る
全世界を結ぶジェットクリッパーの航空網

- ・太平洋横断……………毎日就航
- ・香港へ……………週5便
- ・ヨーロッパへ(香港から)…週6便



パン アメリカンのジェット クリッパー* は太平洋と大西洋を結び、アジアとヨーロッパの両大陸を横断。その上、北極もとんでいます。南米に於いてもパン アメリカンのジェット クリッパーはニューヨーク ブエノスアイレス間を時速1,000キロで往復しています。



世界で最も
経験ある
航空会社

ご用命は最寄りの航空代理店又は弊社営業所で承ります
東京・千代田区丸の内 三菱商事ビル 電話(211) 2441
大阪・北区中之島 大阪グランドホテル 電話(26) 6048~9
名古屋・中村区堀内町 ニュー名古屋ホテル 電話(55) 5131

*合衆国特許局登録商標